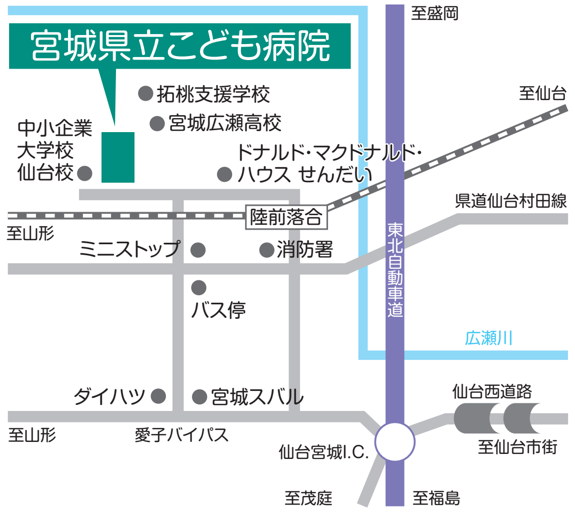
交通のご案内



JR仙山線	… 陸前落合駅より徒歩10分
車	… 仙台駅より20分　仙台宮城I.C.より7分
バ　ス	… 定義・作並温泉・熊ヶ根・白沢車庫行き「宮城広瀬高校・こども病院前」下車徒歩5分（仙台駅西口バスのりば14番発、所要時間約40分）

地方独立行政法人 宮城県立こども病院

〒989-3126　宮城県仙台市青葉区落合四丁目3番17号

https://www.miyagi-children.or.jp/

病院代表 TEL:022-391-5111　FAX:022-391-5118

地域医療連携室 TEL:022-391-5115　FAX:022-391-5120

2026.07

宮城県立こども病院

MIYAGI CHILDREN'S HOSPITAL

2026年度版

診療のご案内

病院の理念

すべての子どもにいのちの輝きを

宮城県小児総合医療整備基本計画 基本理念

元気のでるファミリーホスピタル

宮城県立こども病院設計理念

ごあいさつ

理事長・院長
蛇川 大樹

変革の時期、これからも病院の理念とともに

2026年4月1日に今泉益栄前理事長の後任として理事長を拝命しました。院長としては2年目を迎え、東北唯一の小児・周産期専門病院の舵取り役としての使命と責任の重さに一層身の引き締まる思いでおります。

当院は23年前の2003年に、東北地方初の小児・周産期高度専門医療施設として開院しました。そして、2016年の宮城県立拓桃園との統合から今年で10年となります。この間、仙台市内、宮城県内はもちろん、東北全域の医療施設から多くの患者さんをご紹介いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

一方で、東北地方の急速な少子化の進行、および小児の疾病構造の変化や治療の進歩により入院患者が減少し、さらには医療的ケア児や在宅医療、成人移行支援への対応が求められるなど、この23年間に小児医療を取り巻く環境は大きく変化しました。そして、全国の小児病院や公的病院と同様に、現在の厳しい経営状況を改善することが喫緊の課題となっています。より広域の医療圏を診療対象とし、東北各県の大学病院および中核病院、地域医療を支える市中病院やクリニック、在宅診療所や訪問看護ステーションの皆様との連携をなお一層強化して、当院の強みである先進的なチーム医療を提供してまいります。

今年度は第6期中期目標・計画4か年の1年目にあたります。診療報酬が大幅に改定され、医療DX導入が求められるなど、日本の医療全体が大きな変革の時期を迎えています。経営基盤を安定させ、こどもたちに最善の医療を提供し続けていくためには、現実を直視しつつ、時代に適応して、勇気をもって自らを変えていく4年間にしなければなりません。同時に、宮城県の小児医療関係者および患者家族の願いが込められた「すべての子どもにいのちの輝きを」「元気のでるファミリーホスピタル」という2つの言葉を、改めて当院の理念として高く掲げ、引き続き高度な小児医療・療育を実践してまいりますので、これまで同様ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

私たちの使命

私たちは、こどもの権利を尊重し、こどもの成長を育む
心の通った医療・療育を行います。

私たちは、高度で専門的な知識と技術に支えられた、
良質で安全な医療・療育を行います。

病院の基本方針

1. チーム医療・成育医療及び総合的な療育プログラムを実践し、温かい医療・療育を行います。
2. こどもの成長・発達に応じたきめ細やかな医療・療育を行い、自立の心を育みます。
3. 一人ひとりの成長・発達に寄り添い、安全で潤いのある療養・療育環境を整えます。
4. 小児医療と療育の中核施設として、地域の関係機関と連携し、患者や家族の地域での生活を支えます。
5. こどもや家族と診療・療育内容の情報を共有し、情報公開に努めます。
6. 自己評価を行い、外部評価を尊重するとともに、業務の改善や効率化を図り、健全経営に努めます。
7. 臨床研究及び人材の育成を推進し、医療・療育水準の向上に貢献します。
8. 職員の就労環境を整備するとともに、職員の知識・技術の習得を支援します。

病院のこども憲章

この憲章は宮城県立こども病院でのこどもたちやご家族の権利を示すものです。

1. こどもたちは、こどもの病気を治すことを専門とする職員によって、適切な治療を受けられます。
2. こどもたちは、みずからの健康に関するすべてのことについて、年齢や理解度に応じた方法で説明を受けられます。
3. こどもたちとその家族は、検査や治療について事前に十分な説明を受け、納得したうえで診療を受けられます。
4. こどもたちは、いつでも安心して治療が受けられるような環境のなかで、安全な痛みの少ない治療を受けられます。
5. 家族はこどもたちの治療に積極的に参加することができます。
6. こどもたちは、年齢や病状にあった遊びやレクリエーションを提供され、教育を受けられます。
7. こどもたちとその家族のプライバシーはいつでも守られます。

病院の看護理念

1. こどもとご家族の権利を尊重し、倫理に基づいた看護を提供します。
2. こどものいのちをまもり成長・発達を促すとともに、安全な看護を提供します。
3. こどもとご家族をひとつとしてとらえ、あたたかな看護を提供します。
4. 小児専門病院として質の高い看護を実践し社会に貢献します。

※診療科の案内は2026年7月現在の内容です。

INDEX

病棟案内 ･･････ 2
施設概要 ･･････ 5
組織図 ･･････ 6

理事長・院長・副院長 ･･････ 7
新生児科 ･･････ 8
総合診療科 ･･････ 9
消化器科 ･･････ 10
アレルギー科 ･･････ 11
リウマチ・感染症科 ･･････ 12
腎臓内科 ･･････ 13
血液腫瘍科 ･･････ 14
循環器科 ･･････ 15
神経科 ･･････ 16
外科 ･･････ 17
心臓血管外科 ･･････ 18
脳神経外科 ･･････ 19
整形外科 ･･････ 20
形成外科 ･･････ 21
泌尿器科 ･･････ 22
産科 ･･････ 23
歯科口腔外科・矯正歯科 ･･････ 24
リハビリテーション科 ･･････ 25
発達診療科 ･･････ 26
放射線科 ･･････ 27
麻酔科 ･･････ 28
集中治療科 ･･････ 29
臨床病理科 ･･････ 30
眼科／内分泌科／耳鼻いんこう科／児童精神科 ･･････ 31
循環器センター ･･････ 31

救急医療／短期入所サービス ･･････ 32
地域医療連携 ･･････ 33
患者さん紹介方法 ･･････ 34
登録医療機関について ･･････ 36

病棟案内

本館

2F 本館2階病棟

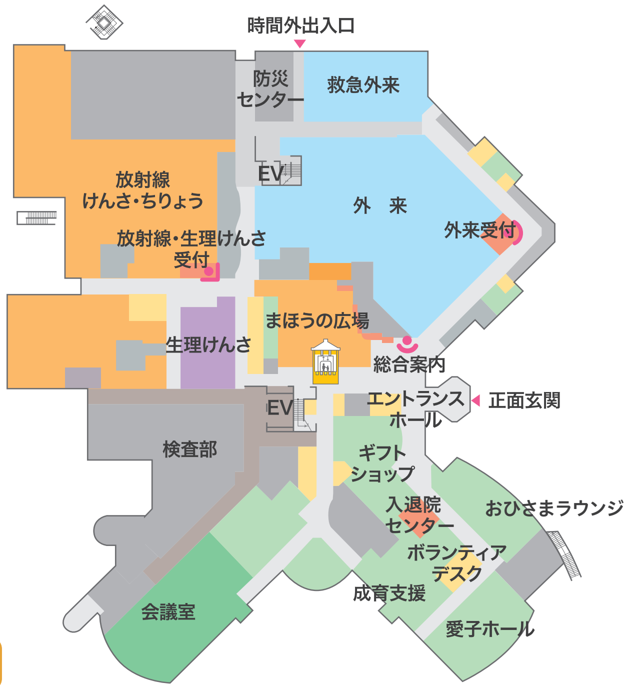
2F 本館2階病室

2F 中央材料滅菌室

2F 薬剤部

2F

1F



1F 総合案内

1F 外来受付

1F まほうの広場

1F おひさまラウンジ

1F 放射線・生理検査受付

1F 外来処置室

1F 救急処置室

1F ギフトショップ(売店)

1F 入退院センター

1F こども図書館

1F 栄養相談室

3F 新生児中等症治療室(GCU・HCU)

3F 手術室

3F プレイルーム

3F 新生児集中治療室(NICU)

3F LDルーム

3F 産科病棟 スタッフステーション

3F

4F

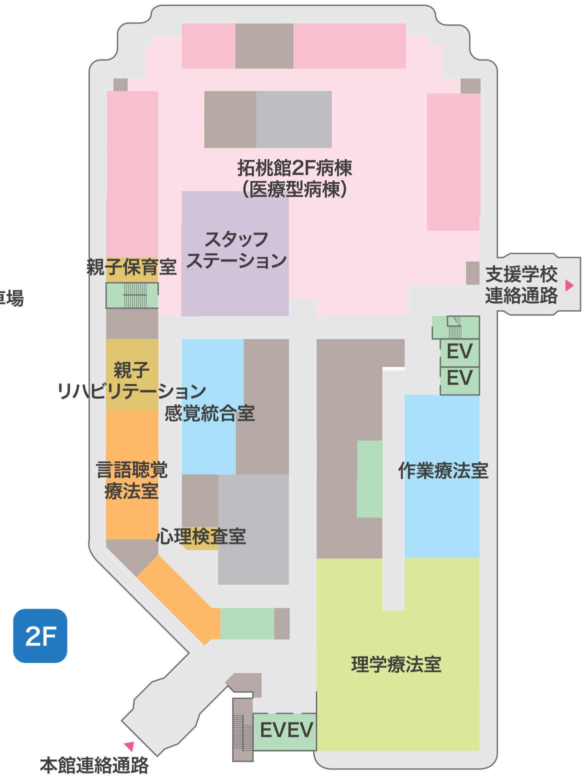
4F 屋上広場

4F デイルーム・食堂

4F 本館4階病棟

4F 本館4階病室

拓 桃 館



1F 診察室

2F デイルーム・食堂

2F 理学療法室

1F 拓桃館外来受付

1F お口のしんさつ室

2F 作業療法室

1F 医事会計・診察待合室

1F ラウンジ「ひだまり」

2F 親子入所室

3F 浴室

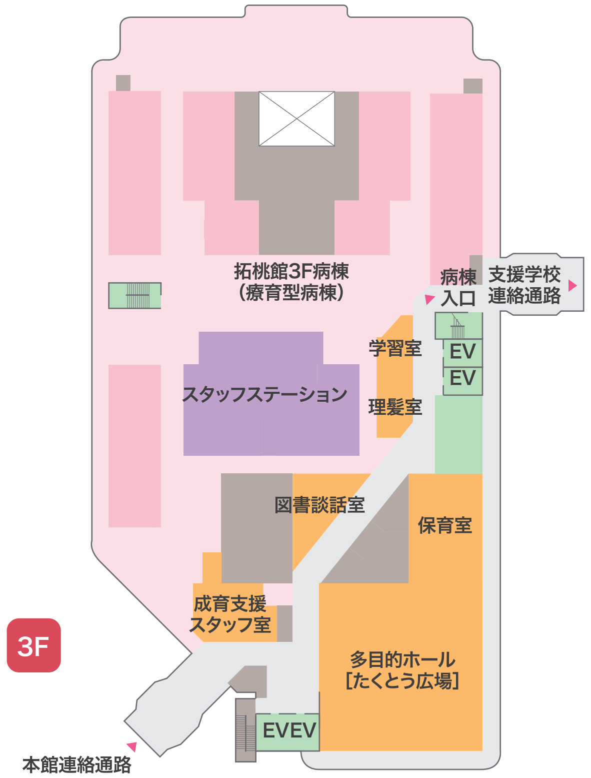
3F 保育室

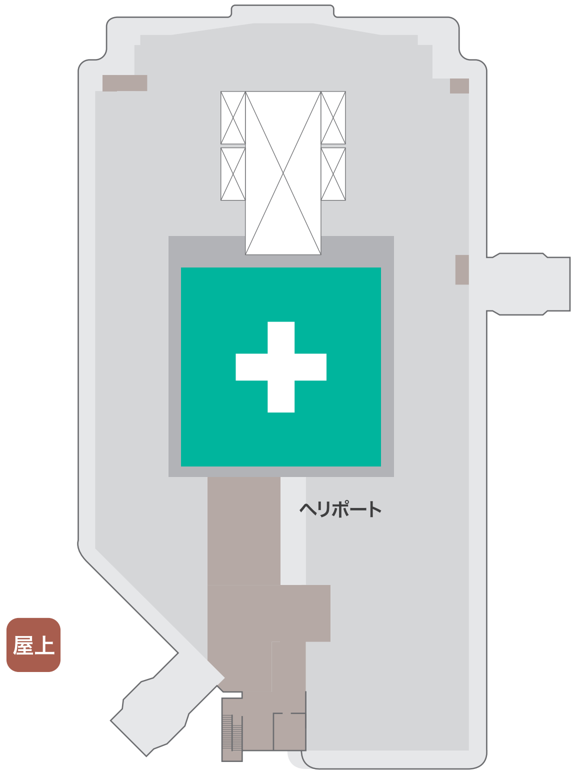
3F 多目的ホール「たくとう広場」

3F 拓桃館3階病棟

3F 理髪室

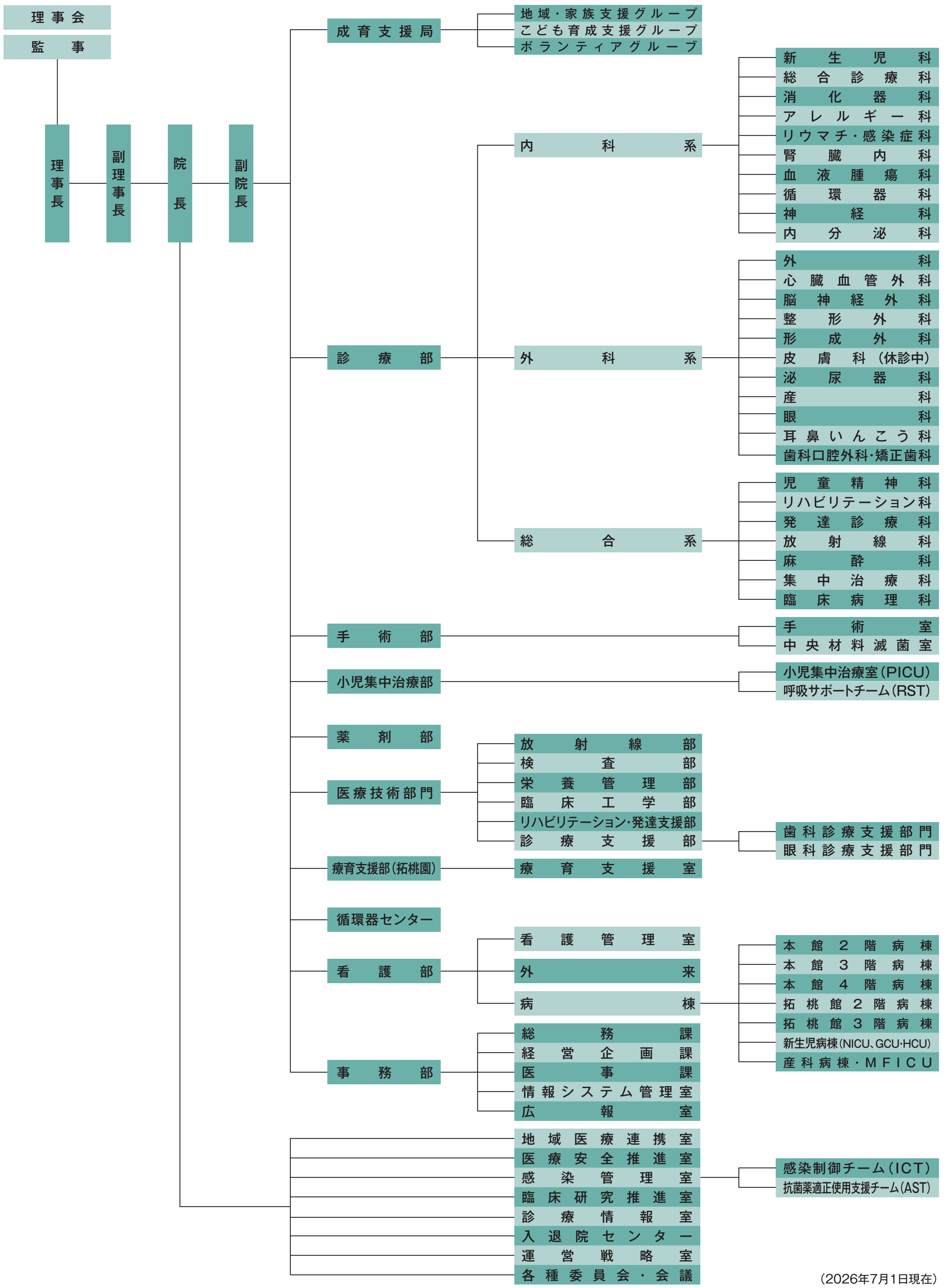
屋上 ヘリポート





<table>
<tr><th>開設者</th><td colspan="6">地方独立行政法人宮城県立こども病院　理事長　虻川 大樹</td></tr>
<tr><th>病院名</th><td colspan="6">宮城県立こども病院（児童福祉施設 ／ 宮城県立拓桃園）</td></tr>
<tr><th>敷地面積</th><td colspan="3">47,854.4㎡</td><th rowspan="3">延床面積</th><td colspan="2">26,972.94㎡</td></tr>
<tr><th rowspan="2">延床面積</th><td>本　館</td><td colspan="2">鉄筋コンクリート造、地上4階建（免震構造）</td><td>内　訳　本　館</td><td>18,030.44㎡</td></tr>
<tr><td>拓桃館</td><td colspan="2">鉄筋コンクリート造、地上4階建（免震構造）</td><td>内　訳　拓桃館</td><td>8,942.50㎡</td></tr>
<tr><th rowspan="7">病床数</th><td colspan="6">10病棟　241床</td></tr>
<tr><td rowspan="4">本　館
160床</td><td colspan="2">PICU</td><td>8床</td><td>産科病棟</td><td>12床</td></tr>
<tr><td rowspan="2">新生児病棟</td><td>NICU</td><td>12床</td><td>本館2階病棟</td><td>36床</td></tr>
<tr><td>GCU・HCU</td><td>15床</td><td>本館3階病棟</td><td>35床</td></tr>
<tr><td colspan="2">MFICU</td><td>6床</td><td>本館4階病棟</td><td>36床</td></tr>
<tr><td rowspan="2">拓桃館
81床</td><td colspan="2">拓桃館2階病棟</td><td>27床</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">拓桃館3階病棟</td><td>54床</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

組織図



（2026年7月1日現在）

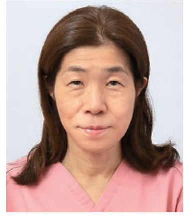
理事長・院長・副院長

理事長・院長　蛇川 大樹　あぶかわ　だいき

職名	理事長・院長
診療・専門領域	小児科一般、小児消化器・肝臓病
資格等	日本小児科学会専門医・認定小児科指導医、日本小児栄養消化器肝臓学会認定医、日本炎症性腸疾患学会 IBD 専門医・指導医、日本小児科医会子どもの心相談医、厚生労働省臨床研修指導医

副院長　佐藤 篤　さとう　あつし

職名	副院長 兼 成育支援局長 兼 血液腫瘍科科長 兼 医療技術部門長（検査担当）兼 臨床研究推進室室長 兼 医療安全推進室室長
診療・専門領域	小児血液・腫瘍分野
資格等	日本小児科学会専門医・指導医、日本血液学会専門医・指導医、日本小児血液・がん学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医



副院長　五十嵐 あゆ子　いがらし　あゆこ

職名	副院長 兼 診療部長 兼 麻酔科科長 兼 手術部長 兼 医療技術部門長（臨床工学部担当）兼 医療技術部門長（眼科診療支援部門担当）兼 診療情報室長 兼 循環器センター勤務
診療・専門領域	麻酔全般
資格等	麻酔科標榜医、日本麻酔科学会専門医・指導医、日本小児麻酔学会認定医

副院長　落合 達宏　おちあい　たつひろ

職名	副院長 兼 整形外科科長 兼 療育支援部長 兼 療育支援室長
診療・専門領域	小児整形外科・小児リハビリテーション科
資格等	日本整形外科学会専門医・指導医、日本リハビリテーション医学会専門医・指導医・代議員、東北大学医学部 非常勤講師・臨床教授、東北医科薬科大学医学部 非常勤講師・臨床教授

副院長　横内 由樹　よこうち　ゆき

職名	副院長 兼 看護部長
診療・専門領域	看護管理・看護教育・小児看護
資格等	日本看護協会認定資格認定看護管理者、東北文化学園大学非常勤講師・臨地教授、認定看護管理者教育課程サードレベル指導者、認定看護管理者教育課程セカンドレベル指導者

新生児科

各科WEB

医師一覧

科長　埴田 卓志　はにた　たくし

- 職名：科長 兼 循環器センター勤務
- 診療・専門領域：新生児、一般小児
- 資格等：日本小児科学会専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会専門医（新生児）・指導医

加賀 麻衣子　かが　まいこ

- 職名：部長
- 診療・専門領域：新生児、一般小児
- 資格等：日本小児科学会専門医、日本周産期・新生児医学会専門医（新生児）・指導医

阿部 雄紀　あべ　ゆうき

- 職名：医長
- 診療・専門領域：新生児、一般小児
- 資格等：日本小児科学会専門医、日本周産期・新生児医学会（新生児）専門医

萩野 有正　はぎの　ありまさ

- 職名：医師（フェロー）
- 診療・専門領域：新生児、一般小児
- 資格等：日本小児科学会専門医、認定メディカルコーチ、日本メディカル AI 学会公認資格、出生前コンサルト小児科医

山内 航　やまうち　わたる

- 職名：医師（フェロー）
- 診療・専門領域：新生児、一般小児
- 資格等：日本小児科学会専門医

佐藤 優真　さとう　ゆうま

- 職名：医師（フェロー）
- 診療・専門領域：新生児、一般小児
- 資格等：日本小児科学会専門医

診療科の概要、方針

新生児科は、出生から生後1か月までの赤ちゃんに生じたさまざまな病気や異常を対象に診療しています。小児専門病院の新生児科として、内科系・外科系（外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科）疾患を有する病的新生児の入院診療を行うとともに、宮城県周産期医療の2～3次医療施設として、早産児や低出生体重児など高度な医療を必要とする新生児を受け入れています。

診療は、院内の各専門診療科や産科と緊密に連携し、それぞれの疾患や病状に応じた最適な医療を提供しています。また、胎児期に異常を指摘された症例では、出生後の経過や治療方針についてご家族へ丁寧に説明し、出生前から出生後まで切れ目のない診療を行っています。

入院診療は、NICU（新生児集中治療室）とGCU（新生児回復治療室）を中心に行い、各種人工呼吸管理、一酸化窒素吸入療法、低体温療法、交換輸血、血液透析、腹膜透析、血漿交換など、高度な新生児医療に対応しています。

外来診療では、早産児や低出生体重児、成長や発達に心配のある新生児・乳児のフォローアップを行っています。また、胎児診断された赤ちゃんや、他院で出生した生後1か月までの紹介患者さんの初期対応にも取り組み、必要に応じて関連診療科へ引き継ぎながら、乳幼児期から学童期まで継続して成長を見守っています。

診療内容の特徴

1 早産児・低出生体重児
超・極低出生体重児から低出生体重児まで受け入れ、NICU管理や退院後のフォローアップを行っています。

2 病的新生児の集中治療
呼吸障害、感染症、新生児仮死などに対し、高度な新生児集中治療を提供しています。

3 先天性心疾患・循環器疾患
先天性心疾患や不整脈を有する新生児を、循環器科・心臓血管外科と連携して診療します。

4 外科系先天性疾患
脳神経外科、外科、泌尿器科、形成外科と協力し、さまざまな先天性疾患の周術期管理を担います。

5 胎児治療後・ハイリスク新生児
胎児治療を受けた新生児をはじめ、出生前から専門的管理が必要な赤ちゃんを継続して支援します。

外来週間担当表

◆…非常勤医師　★…後期研修医　（2026年7月現在）

外来		月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
新生児科外来	新患・再来	埴田 加賀 新生児科医師	埴田 加賀 新生児科医師	埴田 加賀 新生児科医師	埴田 加賀 新生児科医師	埴田 加賀 新生児科医師	埴田 加賀 新生児科医師	埴田 加賀 新生児科医師	埴田 加賀 新生児科医師	埴田 加賀 新生児科医師	埴田 加賀 新生児科医師
	1ヶ月健診						新生児科医				

総合診療科

各科WEB

診療科の概要、方針

総合診療科は、「総合診療」と「専門診療」の二つを柱とし、「病院の窓口」として幅広い小児医療を担っています。新たに受診される患者さんの診療や適切な診療科への振り分けを行うとともに、小児一般疾患や救急疾患の診療、専門分野をまたがる診療の調整役として、切れ目のない医療を提供しています。

総合診療では専門診療科への振り分けが難しい患者さんの主治医となり、複数の診療科と連携しながら診療を進めています。感染症や川崎病など入院を要する救急疾患についても、随時受け入れを行っています。また、在宅医療を必要とする患者さんについても適宜入院治療を行っています。

専門診療では、消化器科、アレルギー科、腎臓内科、リウマチ・感染症科の4分野を担当し、他の医療機関では対応が難しい重症例を中心に、高度で専門的な検査・治療を提供しています。また、先天異常や遺伝性疾患を対象とした遺伝外来を開設し、専門的な立場から診療や相談に応じています。

専門領域に限らず、診療科の選択に迷う場合や複数の症状を抱える患者さんについても、地域の医療機関と連携しながら、安心して適切な医療を受けられる体制づくりに努めています。

診療内容の特徴

1 病院の新患窓口
新たに受診される患者さんに対応し、症状や病状に応じて適切な診療科へつなげます。

2 小児一般・救急診療
感染症や川崎病など、入院を要する小児一般疾患や救急疾患を幅広く診療します。

3 専門分野をつなぐ総合診療
複数の疾患や専門領域にまたがる患者さんの主治医となり、診療全体を調整します。

4 専門的な4分野の診療
消化器科、アレルギー科、腎臓内科、リウマチ・感染症科で高度な専門診療を行っています。

5 在宅医療・遺伝診療への対応
在宅医療を必要とする患者さんの継続支援や、先天異常・遺伝性疾患に対する専門外来を実施しています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師　★…後期研修医　（2026年7月現在）

外来		月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総合診療科外来	新　患			9:30							
遺伝科外来	新　患							第1:吉橋 第3:大場			
	再　来								第1:吉橋 第3:大場		

本館2階病棟

消化器科

各科WEB

医師一覧

科長 角田 文彦　かくた　ふみひこ

職名	科長 兼 総合診療科部長 兼 医療技術部門長（栄養管理部担当）
診療・専門領域	総合診療・消化器
資格等	日本小児科学会専門医、 厚生労働省臨床研修指導医

星 雄介　ほし　ゆうすけ

職名	部長
診療・専門領域	総合診療・消化器
資格等	日本小児科学会専門医、 日本小児栄養消化器肝臓学会認定医、 厚生労働省臨床研修指導医

成重 勇太　なりしげ　ゆうた

職名	医師（フェロー）
診療・専門領域	総合診療・消化器
資格等	日本小児科学会専門医

藤本 大　ふじもと　だい

職名	医師（フェロー）
診療・専門領域	総合診療・消化器
資格等	

古市 真彩　ふるいち　まあや

職名	医師（フェロー）
診療・専門領域	総合診療・消化器
資格等	

診療科の概要、方針

消化器科は、東北地方における小児消化器診療の拠点として、宮城県内外から多くの患者さんをご紹介いただき、専門性の高い診療を提供しています。消化管、肝臓、胆道、膵臓の疾患をはじめ、栄養や成長・発達に関わるさまざまな問題に対応し、一人ひとりの病状に応じた適切な検査・治療を行っています。

特に炎症性腸疾患の診療に力を入れており、新たに診断される患者さんを数多く受け入れ、専門的な検査・治療を実施しています。また、消化管出血、急性・慢性腹痛、便秘・下痢、肝胆膵疾患、体重増加不良、肥満症など、小児期にみられる幅広い消化器・栄養疾患の診療を行っています。

高度専門医療として、上下部消化管内視鏡検査、ダブルバルーン小腸内視鏡、カプセル小腸内視鏡など、多様な内視鏡検査・治療に対応しているほか、必要に応じて経皮的肝生検などの専門的検査も実施しています。2024年度には、消化管内視鏡検査・治療を計280件、経皮的肝生検を10件施行しました。

地域の医療機関と密接に連携し、東北地方の小児消化器診療を支える中核施設として、専門的かつ質の高い医療の提供に努めています。消化器症状や栄養に関するお悩みがありましたら、お気軽にご相談ください。

診療内容の特徴

1 炎症性腸疾患
潰瘍性大腸炎やクローン病に対し、内視鏡検査や栄養療法、薬物療法など専門的な診療を行っています。

2 消化器症状の診療
急性・慢性腹痛、嘔吐、消化管出血、慢性便秘症、慢性下痢症など、幅広い消化器疾患に対応しています。

3 内視鏡による専門的検査・治療
上部・下部内視鏡、小腸内視鏡、カプセル内視鏡などを活用し、専門性の高い診療を提供しています。

4 肝胆膵・新生児消化器疾患
肝炎、胆道閉鎖症、新生児・乳児胆汁うっ滞性疾患、先天性胆道拡張症などの診療を行っています。

5 栄養・成長に関する診療
体重増加不良や肥満症など、消化器疾患と関連する栄養・成長発達の問題にも対応しています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師　★…後期研修医　（2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
消化器科外来	新患					星 成重					
	再来	角田 成重	角田 星			角田	角田 星			角田 星	角田 成重

アレルギー科

各科WEB

医師一覧

科長 堀野 智史　ほりの　さとし

職名	科長 兼 総合診療科部長
診療・専門領域	アレルギー科・小児科
資格等	日本小児科学会専門医・指導医、 日本アレルギー学会専門医・指導医、 厚生労働省臨床研修指導医

宮林 広樹　みやばやし　ひろき

職名	医長
診療・専門領域	アレルギー科・小児科
資格等	日本小児科学会専門医、 日本アレルギー学会専門医

鈴木 佐和子　すずき　さわこ

職名	医師（フェロー）
診療・専門領域	アレルギー科・小児科
資格等	日本小児科学会専門医、 日本アレルギー学会専門医

安齋 豪人　あんさい　ひでと

職名	医師（フェロー）
診療・専門領域	アレルギー科・小児科
資格等	日本小児科学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医、 厚生労働省臨床研修指導医

角藤 かをり　かくとう　かをり

職名	医師（フェロー）兼 感染管理室勤務
診療・専門領域	アレルギー科・小児科
資格等	日本小児科学会専門医

診療科の概要、方針

アレルギー科は、宮城県内はもとより東北各地から患者さんをご紹介いただき、小児アレルギー疾患に対する専門的な診断・治療を行っています。また、アレルギー疾患だけでなく、さまざまな基礎疾患を合併した患者さんについても、関係診療科と連携しながら総合的な診療を提供しています。

当科は、アレルギー疾患対策基本法に基づく宮城県アレルギー疾患医療拠点病院として、患者さんの診療に加え、地域の医療機関との連携や医療従事者への情報提供など、アレルギー医療の発展と普及において中心的な役割を担っています。また、日本アレルギー学会認定アレルギー専門医教育研修施設として、専門医の育成にも力を入れています。

食物アレルギーに対しては、年間1,000例を超える食物経口負荷試験や経口免疫療法を実施し、安全で適切な診療を行っています。さらに、重症・難治性アレルギー疾患に対しても、高度で専門的な医療を提供しています。

当科では、患者さんとご家族が安心して日常生活を送ることができるよう、医師だけでなく、日本小児臨床アレルギー学会認定の小児アレルギーエデュケーター資格を持つ看護師や管理栄養士など、多職種が連携して診療と生活支援を行っています。

診療内容の特徴

1 食物アレルギー
食物経口負荷試験や経口免疫療法を実施し、必要最小限の食物除去を目指した診療を行っています。

2 気管支喘息・アトピー性皮膚炎
治療入院や教育入院、生物学的製剤を含む薬物療法など、重症・難治例にも対応しています。

3 アレルギー性鼻炎・結膜炎
アレルゲンの評価を行い、生活指導や薬物療法、舌下免疫療法など専門的な治療を提供しています。

4 アナフィラキシー・蕁麻疹
アナフィラキシーや食物依存性運動誘発アナフィラキシー、蕁麻疹など幅広いアレルギー疾患を診療しています。

5 食物蛋白誘発胃腸炎
消化器科と連携しながら専門的な診断・治療を行っています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師　★…後期研修医　（2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
アレルギー科外来	新患					宮林 安齋			堀野 鈴木		
	再来		堀野 宮林 安齋		堀野 鈴木 安齋			宮林 安齋		堀野 鈴木	
	免疫療法外来						宮林/安齋 鈴木/角藤				

リウマチ・感染症科

各科WEB

医師一覧

科長 梅林 宏明　うめばやし　ひろあき

職名	科長 兼 総合診療科長 兼 入退院センター長 兼 臨床研究推進室副室長
診療・専門領域	小児リウマチ性疾患
資格等	日本小児科学会専門医・指導医、 日本リウマチ学会専門医・指導医、 ICD（infection control doctor）

桜井 博毅　さくらい　ひろき

職名	部長 兼 感染管理室長 兼 院内感染管理者
診療・専門領域	小児感染症
資格等	日本小児科学会専門医、日本小児感染症学会小児感染症指導医、ICD（infection control doctor）

齋藤 秀嘉　さいとう　ひでか

職名	医長
診療・専門領域	小児リウマチ性疾患
資格等	日本小児科学会専門医

谷河 翠　たにかわ　みどり

職名	医長 兼 感染管理室勤務
診療・専門領域	小児感染症
資格等	日本小児科学会専門医、 ICD（infection control doctor）

診療科の概要、方針

リウマチ・感染症科は、小児リウマチ性疾患と小児感染症の二つの領域を専門としています。小児リウマチ性疾患の診療は、若年性特発性関節炎、全身性エリテマトーデス、高安動脈炎などの血管炎症候群、PFAPAなどの周期性発熱症候群が含まれます。これらの疾患は、発熱や関節痛、発疹などの症状を伴い、腎臓や肺などの臓器に障害を及ぼすこともあります。成長期の子どもたちの心身への負担を軽減するため、早期診断と早期治療を目指し、血液検査や画像検査を活用しながら診療を行っています。

小児感染症では、重症感染症や比較的まれな感染症、免疫不全など基礎疾患を有する患者さんに合併した感染症の診療を行っています。病原体や感染部位を適切に評価し、患者さんの状態に応じた治療を提供するとともに、予防接種に関する相談や支援にも取り組んでいます。

また、感染症領域では、各診療科から年間300件を超える感染症コンサルテーションを受け、専門的な立場から診療支援を行っています。ICT（感染対策チーム）やAST（抗菌薬適正使用支援チーム）の一員として、院内感染対策や抗菌薬の適正使用にも積極的に関わり、多職種と連携しながら安全で質の高い医療の提供に努めています。

診療内容の特徴

1 小児リウマチ性疾患
若年性特発性関節炎（JIA）や全身性エリテマトーデス（SLE）など、リウマチ性疾患の診断・治療を行っています。

2 周期性発熱症候群・血管炎症候群
PFAPAや高安動脈炎など、小児期にみられるさまざまな発熱性疾患に対応しています。

3 重症・難治性感染症
化膿性髄膜炎や感染性心内膜炎などの重症感染症、免疫不全など基礎疾患を有する患者さんの感染症診療を行っています。

4 一般感染症・予防接種支援
肺炎、気管支炎、尿路感染症などの診療に加え、予防接種スケジュールに関する相談にも対応しています。

5 感染対策・院内連携
ICT・ASTの一員として、感染症コンサルテーションや院内感染対策、抗菌薬適正使用に取り組んでいます。

外来週間担当表

◆…非常勤医師　★…後期研修医　（2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
リウマチ科外来	新患・再来	梅林 齋藤		梅林 齋藤			梅林 齋藤		梅林 齋藤	梅林 齋藤	梅林 齋藤
感染症科外来	新患・再来			桜井 谷河				桜井 谷河	桜井 谷河		
結核接触者健診	新患				14:00 桜井						

腎臓内科

各科WEB

医師一覧

科長 稲垣 徹史　いながき　てつじ

職名	科長 兼 総合診療科部長
診療・専門領域	小児腎臓病学
資格等	

森 ひろみ　もり　ひろみ

職名	医師（フェロー）
診療・専門領域	小児腎臓病学
資格等	日本小児科学会専門医

診療科の概要、方針

腎臓内科は、学校検尿で異常を指摘された患者さんの精査をはじめ、腎炎やネフローゼ症候群などの腎疾患、急性・慢性腎不全、腎尿路異常まで、小児腎疾患全般の診断・治療を行っています。また、泌尿器科と連携し、膀胱尿管逆流症や水腎症などの先天的な腎尿路異常についても専門的な診療を提供しています。

学校検尿などで尿異常を認めた患者さんには、尿検査や血液検査、超音波検査などを組み合わせ、初診時から詳しい評価を行っています。必要に応じてMRIなどの画像検査や腎生検を実施し、正確な診断と適切な治療方針の決定に努めています。尿検査の異常があっても、すぐに病気と判断できない場合には、経過を慎重に観察しながら診療を進めています。

腎炎やネフローゼ症候群に対しては、ステロイドや免疫抑制薬による治療を中心に、食事療法や生活指導を含めた継続的な管理を行っています。急性・慢性腎不全については、出生時から血液透析や腹膜透析に対応しており、患者さんの状態に応じた適切な治療を提供しています。また、小児に対する体外循環を用いた急性血液浄化療法にも積極的に取り組んでいます。

診療内容の特徴

1 ネフローゼ症候群
小児に多い特発性ネフローゼ症候群を中心に、ステロイド療法や免疫抑制療法など専門的な治療を行っています。

2 腎炎（急性腎炎・IgA腎症）
学校検尿などで発見される腎炎に対し、腎生検を含めた精密検査と適切な治療を提供しています。

3 尿路感染症
腎盂腎炎などの尿路感染症に対し、原因検索から治療、再発予防まで継続的に診療を行っています。

4 先天性腎尿路異常
腎低形成・異形成や膀胱尿管逆流症などに対し、各種画像検査を用いて診断・管理を行っています。

5 慢性腎不全・透析療法
慢性腎不全に対する長期管理を行い、必要に応じて腹膜透析や血液透析などの腎代替療法に対応しています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師　★…後期研修医　（2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
腎臓内科外来	新患		稲垣								
	再来			稲垣	稲垣	稲垣	稲垣	稲垣	稲垣		
PD外来	再来				稲垣						

血液腫瘍科

各科WEB

医師一覧

科長 佐藤 篤 さとう あつし
- 職名：副院長 兼 成育支援局長 兼 血液腫瘍科科長 兼 医療技術部門長（検査担当）兼 臨床研究推進室室長 兼 医療安全推進室室長
- 診療・専門領域：小児血液・腫瘍分野
- 資格等：日本小児科学会専門医・指導医、日本血液学会専門医・指導医、日本小児血液・がん学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医

力石 健 りきいし たけし
- 職名：部長
- 診療・専門領域：小児血液・腫瘍分野
- 資格等：日本小児科学会専門医、日本血液学会血液専門医、日本小児血液・がん学会小児血液・がん専門医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医、厚生労働省 臨床研修指導医

小沼 正栄 おぬま まさえい
- 職名：部長
- 診療・専門領域：小児血液・腫瘍分野
- 資格等：

鈴木 資 すずき たすく
- 職名：部長 兼 運営戦略室室長代理
- 診療・専門領域：小児血液・腫瘍分野
- 資格等：日本小児科学会専門医、日本血液学会専門医

齋藤 美沙子 さいとう みさこ
- 職名：医師（フェロー）
- 診療・専門領域：小児血液・腫瘍分野
- 資格等：

診療科の概要、方針

血液腫瘍科は、小児がんをはじめとする悪性腫瘍、貧血や血小板減少症などの血液疾患、免疫疾患、血友病などを専門に診療しています。東北大学小児科と緊密な診療連携体制を構築し、宮城県内外から紹介される患者さんに対して高度で専門的な医療を提供しています。また、高校生年代までを対象とした診療にも対応しています。

当科は、日本小児がん研究グループ（JCCG）などの多施設共同研究に参加し、標準治療に基づいた質の高い診療を実践しています。造血幹細胞移植医療施設として、骨髄移植、臍帯血移植、末梢血幹細胞移植など、あらゆる移植治療に対応しており、2026年3月末までに101例の造血幹細胞移植を実施しています。また、造血幹細胞移植後フォローアップ外来（SCT外来）や血友病専門外来を設け、専門性の高い継続診療を行っています。

長期入院となる患者さんも多いことから、支援学校の教員や保育士、チャイルド・ライフ・スペシャリスト、子ども療養支援士、臨床心理士、ソーシャルワーカーなど多職種と連携し、成長・発達や心理面にも配慮したチーム医療を実践しています。また、セカンドオピニオンにも対応し、患者さんとご家族が安心して治療に臨めるよう支援しています。

診療内容の特徴

1 小児がん
急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、悪性リンパ腫、神経芽腫などに対し、標準治療に基づく専門的な診療を行っています。

2 良性血液疾患
再生不良性貧血や各種貧血、血球貪食症候群などの診断・治療に対応しています。

3 造血幹細胞移植
骨髄移植、臍帯血移植、末梢血幹細胞移植に対応し、高度専門医療と移植後の長期フォローアップを行っています。

4 血友病・血液凝固障害
血友病専門外来を設け、凝固因子補充療法や家庭治療支援など、日本血栓止血学会が定める東北地区ブロック拠点病院として包括的な診療を提供しています。

5 免疫不全症
先天性免疫不全症に対し、感染予防から免疫グロブリン補充療法、造血幹細胞移植まで幅広く対応しています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師 ★…後期研修医 （2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
血液腫瘍科外来	新患・再来	佐藤(篤)	力石		佐藤(篤)	力石	小沼			佐藤 力石	鈴木
SCT外来	再来			第2火 佐藤(篤)					第4木 力石		
血友病外来	再来				第4火 佐藤(篤)						

循環器科

各科WEB

医師一覧

科長 小澤 晃 おざわ あきら
- 職名：科長 兼 循環器センターセンター長
- 診療・専門領域：小児循環器
- 資格等：日本小児科学会専門医、日本小児循環器学会専門医、厚生労働省臨床研修指導医

新田 恩 にった めぐみ
- 職名：部長 兼 循環器センター勤務
- 診療・専門領域：小児循環器
- 資格等：日本小児科学会専門医・指導医、日本小児循環器学会専門医、小児救急 SI メンバー、厚生労働省臨床研修指導医

川合 英一郎 かわい えいいちろう
- 職名：部長 兼 循環器センター勤務
- 診療・専門領域：小児循環器
- 資格等：日本小児科学会専門医・指導医、日本小児循環器学会専門医、医学博士、厚生労働省臨床研修指導医

大軒 健彦 おおのき たけひこ
- 職名：部長 兼 循環器センター勤務
- 診療・専門領域：小児循環器
- 資格等：日本小児科学会専門医、厚生労働省臨床研修指導医

鈴木 大 すずき だい
- 職名：部長 兼 循環器センター勤務
- 診療・専門領域：小児循環器
- 資格等：日本小児科学会専門医、日本小児循環器学会専門医、日本小児心筋疾患学会幹事

星 菜美子 ほし なみこ
- 職名：医長
- 診療・専門領域：小児循環器
- 資格等：日本小児科学会専門医、厚生労働省臨床研修指導医

黒田 薫 くろだ かおる
- 職名：医師（フェロー）
- 診療・専門領域：小児循環器
- 資格等：日本小児科学会専門医、厚生労働省臨床研修指導医

八木 耕平 やぎ こうへい
- 職名：医師（フェロー）
- 診療・専門領域：小児循環器
- 資格等：日本小児科学会専門医

診療科の概要、方針

循環器科は、胎児期から学童期までの先天性心疾患をはじめ、不整脈や心筋疾患など小児の循環器疾患全般を診療しています。宮城県内だけでなく東北各地から多くの患者さんをご紹介いただき、東北唯一の小児専門循環器施設として、高度で専門的な医療を提供しています。

当科では、心臓血管外科をはじめとする院内各診療科と連携し、胎児期から出生後、成長に合わせた継続的な診療を行っています。特に胎児心エコー検査に力を入れており、日本胎児心臓病学会認定の胎児心臓超音波検査専門施設として、出生前診断と治療方針の検討に取り組んでいます。

また、年間300件を超える心臓カテーテル検査・治療を実施しており、国内でも有数の症例数を有しています。心房中隔欠損症や動脈管開存症に対する低侵襲なカテーテル治療を積極的に行っており、日本小児循環器学会認定専門医修練施設として、専門医の育成にも取り組んでいます。

診療にあたっては、「こどもに優しい医療」を大切にし、栄養指導や専属保育士による支援など、多職種が連携して入院中の不安や負担の軽減に努めています。患者さんとご家族が安心して治療に臨めるよう、心身の両面から支える医療を提供しています。

診療内容の特徴

1 先天性心疾患
心室中隔欠損症、心房中隔欠損症、動脈管開存症など、胎児期から継続した診療を行っています。

2 複雑先天性心疾患
ファロー四徴症、肺動脈閉鎖症、完全大血管転位症などに対し、心臓血管外科と連携して治療を行っています。

3 心臓カテーテル治療
心房中隔欠損症や動脈管開存症などに対し、低侵襲なカテーテル治療を積極的に実施しています。

4 不整脈・後天性心疾患
不整脈、急性心筋炎、川崎病性冠動脈瘤など、小児の循環器疾患全般に対応しています。

5 胎児心臓診療
胎児心エコー検査を通じて出生前診断を行い、出生後の治療へ円滑につなげています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師 ★…後期研修医 （2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
循環器科外来	新患		小澤								
	再来			新田 川合 鈴木	小澤			小澤 新田 大軒			新田

神経科

各科WEB

医師一覧

科長 冨樫 紀子 とがし のりこ

- 職名：科長 兼 療育支援室副室長
- 診療・専門領域：小児神経科全般
- 資格等：日本小児科学会専門医、日本小児神経学会専門医、VNS 認定医、東北大学医学部臨床准教授（小児科担当）

植松 貢 うえまつ みつぐ

- 職名：部長
- 診療・専門領域：小児神経科全般
- 資格等：日本小児科学会専門医、日本小児神経学会専門医、日本てんかん学会専門医、VNS 認定医

乾 健彦 いぬい たけひこ

- 職名：部長 兼 療育支援室勤務
- 診療・専門領域：小児神経科全般
- 資格等：日本小児科学会専門医・指導医、日本小児神経学会専門医、日本てんかん学会専門医、厚生労働省臨床研修指導医

遠藤 若葉 えんどう わかば

- 職名：部長
- 診療・専門領域：小児神経科全般
- 資格等：日本小児科学会専門医・指導医、日本小児神経学会専門医

堅田 有宇 かたた ゆう

- 職名：部長
- 診療・専門領域：小児神経科全般
- 資格等：日本小児科学会専門医、日本小児神経学会専門医、日本人類遺伝学会認定 臨床遺伝専門医

後藤 悠輔 ごとう ゆうすけ

- 職名：医師（フェロー）
- 診療・専門領域：小児神経科全般
- 資格等：日本小児科学会専門医

宇根岡 紗希 うねおか さき

- 職名：医師（フェロー）
- 診療・専門領域：小児神経科全般
- 資格等：日本小児科学会専門医

沖村 聖人 おきむら まさと

- 職名：医師（フェロー）
- 診療・専門領域：小児神経科全般
- 資格等：日本小児科学会専門医

渡邉 莉子 わたなべ りこ

- 職名：後期研修医
- 診療・専門領域：
- 資格等：

診療科の概要、方針

神経科は、発達障害全般に対する「医療・療育」「発作性疾患や神経感染症などの急性・慢性神経疾患の治療」「希少難病の診断・治療」を三本柱として診療を行っています。

自閉症、ADHD、知的障害、運動発達遅滞、脳性麻痺などの発達に関わる疾患をはじめ、てんかんやチック、急性脳炎・脳症、神経感染症、染色体異常症、奇形症候群、神経皮膚症候群、頭痛、末梢神経障害、筋ジストロフィーなどの神経筋疾患、原因不明の希少難病まで、幅広い疾患に対応しています。

また、神経科単独の診療だけでなく、関連診療科やリハビリテーション部門と連携した包括的な医療を提供していることも特徴です。PT（理学療法士）、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）、臨床心理士など多職種と協力し、急性期から慢性期まで切れ目のない支援を行っています。

さらに、亜急性期から慢性期の中途障害児に対するリハビリテーションや、親子入院による発達遅滞、脳性麻痺、摂食障害に対する集中リハビリテーションにも取り組み、子ども一人ひとりの成長と生活を支える医療を提供しています。

診療内容の特徴

1 発達障害・重症心身障害

自閉スペクトラム症、ADHD、重症心身障害児などに対し、一人ひとりの成長や生活に寄り添った診療を行っています。

2 てんかん・頭痛・チック

てんかんをはじめ、頭痛やチックなど、小児期にみられる神経疾患の診断と治療を行っています。

3 急性脳炎・脳症・神経感染症

急性脳炎・脳症や髄膜炎などの神経感染症に対し、急性期から回復期まで一貫した診療を行っています。

4 脳性麻痺・末梢神経障害・神経変性疾患

脳性麻痺やギラン・バレー症候群、慢性炎症性多発神経根炎、シャルコー・マリー・トゥース病、脳変性疾患など幅広い神経疾患に対応しています。

5 中途障害・摂食障害

頭部外傷や急性脳炎・脳症の後遺症による中途障害、摂食障害に対し、多職種と連携した支援を行っています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師 ★…後期研修医 （2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
神経科外来	新患	植松		乾		植松		植松			
	再来	冨樫 堅田	植松 堅田 宇根岡 沖村	冨樫 植松	冨樫 植松 乾 宇根岡	田中◆ 宇根岡	冨樫 遠藤 田中◆	乾 堅田 後藤	乾 遠藤	冨樫 乾 遠藤 堅田	植松 乾 遠藤 後藤 大久保◆

外科

各科WEB

医師一覧

科長 佐々木 英之 ささき ひでゆき

- 職名：科長
- 診療・専門領域：小児外科一般
- 資格等：日本外科学会認定 外科専門医・指導医、日本小児外科学会認定 小児外科専門医・指導医、日本肝臓学会認定 肝臓専門医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本小児血液・がん学会認定 小児がん認定外科医

福澤 太一 ふくざわ たいち

- 職名：部長
- 診療・専門領域：小児外科一般
- 資格等：日本小児外科学会認定 小児外科専門医・指導医、日本外科学会認定 外科専門医・指導医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本小児血液・がん学会 小児がん認定外科医

櫻井 毅 さくらい つよし

- 職名：部長
- 診療・専門領域：小児外科一般
- 資格等：日本外科学会認定 外科専門医、日本小児外科学会認定 小児外科専門医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本小児血液・がん学会 小児がん認定外科医、日本栄養治療学会 認定医

佐藤 皓祐 さとう こうすけ

- 職名：医師（フェロー）
- 診療・専門領域：小児外科一般
- 資格等：日本専門医機構認定外科専門医

診療科の概要、方針

外科は、新生児から思春期までのお子さまを対象に、先天性疾患をはじめ、さまざまな小児外科疾患の診療を行っています。日本小児外科学会認定施設として、年間約350件の入院診療、約300件の手術を実施しており、専門医が質の高い小児外科医療を提供しています。

当科では、院内の関係診療科と連携しながら、新生児期から学童期まで幅広い小児外科疾患に対応しています。長期的な治療や支援が必要なお子さま、重症心身障害のある患者さんについても、将来を見据えた移行期医療を念頭に、地域の医療機関とも連携しながら継続した診療を行っています。一部の高度で専門的な症例については、東北大学病院小児外科と協力して診療にあたっています。

手術では、腹腔鏡や胸腔鏡を用いた低侵襲手術を積極的に取り入れています。おへそのしわに沿った切開など、傷跡が目立ちにくい術式も採用し、お子さまの痛みや心身への負担をできる限り軽減できるよう努めています。

診療にあたっては、安全で確実な手術と適切な術前・術後管理を通じて、お子さまの健やかな成長を支えることを大切にしています。医師、看護師をはじめとする多職種が連携し、患者さんとご家族が安心して治療に臨める環境づくりに取り組むとともに、日本小児外科学会専門医制度の認定施設として、次世代の小児外科医の育成にも力を注いでいます。

診療内容の特徴

1 ヘルニア・腹壁疾患

そけいヘルニア、陰嚢水腫、臍ヘルニアなど、小児に多くみられる腹壁疾患に対応しています。

2 急性腹症・消化管疾患

急性虫垂炎、腸重積症、肥厚性幽門狭窄症、胃食道逆流症などの外科的治療を担っています。

3 小腸・大腸・肛門・肝胆道疾患

消化管疾患や肝胆道疾患、門脈圧亢進症など、専門的な小児外科診療を提供しています。

4 頚部・胸部・横隔膜疾患

頚部瘻孔・嚢胞、肺・縦隔・食道疾患、胸壁・腹壁・横隔膜の異常に対する治療を行っています。

5 良性腫瘍・固形腫瘍

良性腫瘍から小児固形腫瘍まで、関係診療科と連携した診療に取り組んでいます。

外来週間担当表

◆…非常勤医師 ★…後期研修医 （2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
外科外来	新患	福澤 櫻井 佐藤		佐々木	佐々木			佐々木			
	再来			佐々木 福澤	佐々木 福澤			佐々木 福澤	佐々木 福澤		

心臓血管外科

各科WEB

医師一覧

科長 松尾 諭志　まつお　さとし

職名	科長 兼 循環器センター副センター長
診療・専門領域	小児心臓血管外科・成人先天性心疾患
資格等	日本心臓血管外科学会専門医・修練指導医、日本外科学会認定　外科専門医、東北大学医学部臨床准教授・非常勤講師、東北医科薬科大学臨床講師・非常勤講師、厚生労働省臨床研修指導医

高原 真吾　たかはら　しんご

職名	部長 兼 循環器センター勤務
診療・専門領域	心臓血管外科
資格等	日本心臓血管外科学会認定　心臓血管外科認定医、日本外科学会認定　外科専門医、東北大学医学部非常勤講師、厚生労働省臨床研修指導医

庭野 陽樹　にわの　はるき

職名	医師（ビジティング・フェロー）
診療・専門領域	心臓血管外科
資格等	日本心臓血管外科学会認定　心臓血管外科専門医、日本外科学会認定　外科専門医

診療科の概要、方針

心臓血管外科では、心臓や大血管の手術を専門とし、主に先天性心疾患をもつお子さまの外科治療を行っています。先天性心疾患は出生児のおよそ100人に1人にみられる頻度の高い疾患であり、新生児期に緊急手術を必要とする重症例から、成長後に心不全や不整脈などを契機に診断される症例まで、その病態は多岐にわたります。当科では、患者さん一人ひとりの状態に応じて、最適な時期に最適な治療を提供することを基本方針としています。

近年は胎児診断や出生後早期診断の進歩により、出生前から治療計画を立てる機会が増えています。当科では循環器科と緊密に連携し、胎児診断の段階から出生後の管理や手術時期を見据えた診療を行っています。心エコー検査や心臓カテーテル検査などによる詳細な評価をもとに、必要に応じて内科的治療を組み合わせながら、安全かつ効果的な外科治療につなげています。

手術は、新生児・乳児期の心臓手術から複雑先天性心疾患に対する高度な手術まで幅広く対応しています。また、手術技術や人工心肺管理の向上に積極的に取り組むとともに、2022年に開設された循環器センターを基盤として、心臓血管外科医、循環器科医、集中治療医、麻酔科医、臨床工学技士、看護師など多職種が連携するチーム医療を実践し、より安全で質の高い医療の提供を目指しています。お子さまとご家族が安心して治療を受けられるよう、スタッフ一同努めています。

診療内容の特徴

1 先天性心疾患
心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症などに対する外科治療を行っています。

2 複雑先天性心疾患
ファロー四徴症、大血管転位症、両大血管右室起始症、総肺静脈還流異常症などの高度な心臓手術に対応しています。

3 新生児・重症心疾患
左心低形成症候群、大動脈縮窄・大動脈離断症、総動脈幹症など、新生児期からの集中的な外科治療を行っています。

4 単心室循環疾患
機能性単心室症に対するブラロック・トウシッヒシャント術、両方向性グレン手術、フォンタン型手術などの段階的治療を行っています。

5 成人期を見据えた先天性心疾患
小児期から成人期までを見据えた継続的な外科治療と移行期医療に取り組んでいます。

外来週間担当表

◆…非常勤医師　★…後期研修医　（2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
心臓血管外科外来	新患			松尾							
	再来			松尾 高原 庭野							

脳神経外科

各科WEB

医師一覧

科長 林 俊哲　はやし　としあき

職名	科長
診療・専門領域	小児神経外科全般・脳血管障害の外科・頭部外傷・良性脳腫瘍
資格等	日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中の外科指導医、日本神経内視鏡技術認定医、日本小児神経外科学会認定医、厚生労働省臨床研修指導医、東北大学発達神経外科学教授、東北医科薬科大学臨床教授

成澤 あゆみ　なりさわ　あゆみ

職名	部長
診療・専門領域	小児神経外科全般
資格等	日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳神経血管内治療学会専門医、日本脳卒中学会専門医・指導医、日本小児神経外科学会認定医、厚生労働省臨床研修指導医、東北大学医学部医学科学部非常勤講師

東田 綾子　とうだ　あやこ

職名	医長
診療・専門領域	小児神経外科全般
資格等	日本脳神経外科学会専門医、日本神経内視鏡技術認定医、日本小児神経外科学会認定医、厚生労働省臨床研修指導医

診療科の概要、方針

脳神経外科は、胎児期から成人期までを見据え、小児脳神経外科疾患に対する専門的な診療を行っています。東北地方で唯一の小児脳神経外科専門施設として、水頭症、頭蓋縫合早期癒合症をはじめとする頭蓋変形、二分脊椎症、キアリ奇形、もやもや病などの脳血管疾患、良性脳腫瘍など、幅広い疾患に対応しています。

小児の脳神経外科診療では、手術の成功だけでなく、お子さまの発育・発達や将来の生活を見据えた医療が重要です。当科では、本当に手術が必要かを慎重に検討するとともに、術後の長期的な経過も大切にしながら診療を行っています。泌尿器科、整形外科、形成外科、小児外科、産科など院内の関係診療科と連携し、さまざまな合併症やライフステージに応じた課題にも取り組んでいます。

手術では、顕微鏡手術や内視鏡手術、ナビゲーションシステム、術中神経生理学的モニタリングなどを活用し、安全性と低侵襲性の両立を目指しています。開頭範囲や剃髪を最小限に抑えるなど、お子さまとご家族の身体的・精神的負担の軽減にも配慮しています。

また、治療困難な疾患や希少疾患についても、院内各科や東北大学病院関連施設と連携しながら積極的に診療に取り組んでいます。セカンドオピニオンにも対応し、東北地域の小児脳神経外科医療の拠点として、高度で専門的な医療を提供しています。

診療内容の特徴

1 水頭症・神経内視鏡手術
水頭症やくも膜嚢胞などに対し、神経内視鏡を用いた低侵襲治療を積極的に行っています。

2 頭蓋変形・頭蓋縫合早期癒合症
頭蓋縫合早期癒合症や頭位性頭蓋変形に対し、形成外科と連携した治療を行っています。

3 二分脊椎・キアリ奇形・脊髄疾患
二分脊椎症、キアリ奇形、脊髄空洞症などに対し、成長を見据えた外科治療を提供しています。

4 もやもや病・小児脳血管疾患
もやもや病をはじめとする脳血管疾患に対し、病状に応じた血行再建術を行っています。

5 小児脳腫瘍・希少脳神経外科疾患
頭蓋咽頭腫などの良性脳腫瘍や治療困難な疾患に対し、関係施設と連携した専門的治療を行っています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師　★…後期研修医　（2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
脳神経外科外来	新患	林	林			林	林			林	林
	再来	林	林			林	林			林	林

整形外科

各科WEB

医師一覧

科長 落合 達宏　おちあい　たつひろ

職名	副院長 兼 整形外科科長 兼 療育支援部長 兼 療育支援室長
診療・専門領域	小児整形外科・小児リハビリテーション科
資格等	日本整形外科学会専門医・指導医、日本リハビリテーション医学会専門医・指導医・代議員、東北大学医学部 非常勤講師・臨床教授、東北医科薬科大学医学部 非常勤講師・臨床教授、宮城学院女子大学 非常勤講師

水野 稚香　みずの　ちか

職名	部長
診療・専門領域	小児整形外科・小児リハビリテーション科
資格等	日本整形外科学会専門医・指導医・リウマチ認定医、日本リハビリテーション医学会専門医・指導医、産業医

小松 繁允　こまつ　しげまさ

職名	部長
診療・専門領域	小児整形外科・小児リハビリテーション科
資格等	日本整形外科学会専門医、日本リハビリテーション医学会専門医

診療科の概要、方針

整形外科は小児の運動器疾患を対象とした外科系診療科で、宮城県で唯一の小児整形外科専門施設として診療を行っています。

当科では、先天性内反足に対するポンセッティ法や先天性股関節脱臼へのリーメンビューゲル法、ペルテス病への装具治療のように、まず保存療法をしっかり行いながら、困難な場合に骨関節の手術治療を行う方針で対応してきました。小児の骨格は成長とともに変化するため、手術治療においてもその時期や方法、またその時点でどこまで治療を行うかを慎重に判断しています。複数回の治療が必要となる疾患でも骨格の成長完了時期に最善となるよう組み立てています。

骨延長術は「創外固定」という体外に設置する器械を用いて、骨の長さ、傾き、捻じれを矯正する技術です。これにより脚長不等や下肢変形さらに低身長の治療が可能となりました。2000年ごろ日本に導入されましたが、高度な技術のため、当科にはロシアに渡航して学んだスタッフもおります。東北各地から遠方でも治療のご希望をお受けしています。

ボツリヌス治療（ボトックス）は2009年から小児脳性麻痺に投与が始まりました。当科ではその導入に関わり、以後も積極的に治療を行ってきました。遠方からでも治療可能ですのでぜひご相談ください。

小児運動器疾患は多種多様な病態が多く、小児の骨関節疾患や骨系統疾患、代謝性疾患をはじめ麻痺性疾患、腫瘍性疾患など多岐にわたります。こども病院の整形外科・リハビリテーション科は小児運動器科として診断し幅広い治療法を提案してまいります。

診療内容の特徴

1 小児整形外科疾患
先天性内反足、先天性股関節脱臼、筋性斜頚、O脚、X脚、内また、小児外反扁平足などの診療を行っています。

2 小児骨関節疾患・骨端症・脊柱変形
関節炎、骨髄炎、ペルテス病、大腿骨頭すべり症、ブラント病、ケーラー病、側彎症など、成長期の整形外科疾患に対応しています。

3 脚長不等・下肢変形・低身長
脚長不等、先天性下肢形成不全変形、骨端線損傷、低身長など、創外固定やエイトプレートを用いた骨延長や変形矯正を行っています。

4 骨系統疾患・代謝性疾患
骨形成不全症、軟骨無形成症、くる病、ムコ多糖症など、さまざまな疾患の診療を行っています。

5 小児神経疾患
脳性麻痺、二分脊椎、分娩麻痺、シャルコー・マリー・トゥース病、神経線維腫症など、さまざまな診療を行っています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師　★…後期研修医　（2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
整形外科外来 リハビリテーション外来	新患				落合 高橋 水野 小松 芝﨑						
	再来	落合 高橋 水野 小松 芝﨑		落合 高橋 水野 小松 芝﨑		落合 高橋 水野 小松 芝﨑 佐藤◆	落合 高橋 水野 小松 芝﨑 佐藤◆				

形成外科

各科WEB

医師一覧

科長 真田 武彦　さなだ　たけひこ

職名	科長
診療・専門領域	小児形成外科全般
資格等	日本形成外科学会専門医、日本形成外科学会小児形成外科分野指導医

浅野 裕香　あさの　ゆうか

職名	部長
診療・専門領域	小児形成外科全般
資格等	

村木 健二　むらき　けんじ

職名	部長
診療・専門領域	小児形成外科全般
資格等	日本形成外科学会専門医

診療科の概要、方針

形成外科は、「機能」と「かたち」を修復し、生活の質（QOL）の向上を目指す診療科です。生まれつきの形態異常や外傷、病気の後遺症などによって生じるさまざまな変形に対し、手術を中心に専門的な治療を行っています。

当科では、重症外傷を除き、小児に必要とされる形成外科診療のほとんどに対応しています。頭蓋顎顔面の先天異常、口唇口蓋裂、手や足趾の先天異常、皮膚・皮下腫瘍、血管腫、母斑、瘢痕・瘢痕拘縮など、幅広い疾患を診療対象としています。薬物療法やレーザー治療も取り入れながら、患者さん一人ひとりの状態に応じた治療を提供しています。

小児の形成外科診療では、呼吸や哺乳、言語、咬合、運動機能、整容面など、多面的な課題への対応が求められます。当科では、歯科口腔外科・矯正歯科、耳鼻いんこう科、整形外科をはじめ、院内のさまざまな診療科や医療スタッフと連携し、成長段階に応じた長期的な診療を行っています。

また、成長に伴って複数回の手術が必要となる疾患も少なくありません。手術の適応や時期について十分に相談しながら、お子さまとご家族に寄り添い、将来の社会生活も見据えた形成外科医療に取り組んでいます。

診療内容の特徴

1 口唇裂・口蓋裂
新生児期から成人期まで、多職種と連携した長期的な診療を行っています。

2 頭蓋・顎・顔面・耳介の先天異常
頭蓋顎顔面や耳介などの先天異常に対し、機能と整容性の両立を目指した治療を行っています。

3 手足の先天異常
手の先天異常や足趾の先天異常に対し、成長に合わせた治療を提供しています。

4 血管腫・血管奇形・母斑
血管腫、血管奇形、母斑などに対し、手術や薬物療法などを組み合わせた治療を行っています。

5 皮膚・皮下腫瘍・瘢痕拘縮・再建外科
皮膚・皮下腫瘍や瘢痕・瘢痕拘縮に加え、さまざまな組織欠損に対する再建外科治療を行っています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師　★…後期研修医　（2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
形成外科外来	新患	真田 浅野	14:00～ 15:00 真田			真田 浅野				真田 浅野	
	再来	真田 浅野				真田 浅野				真田 浅野	

泌尿器科

各科WEB

診療科紹介

医師一覧

科長 相野谷 慶子 あいのや けいこ

職名	科長
診療・専門領域	泌尿器科・小児泌尿器科
資格等	日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本小児泌尿器科学会認定医

城之前 翼 しろのまえ つばさ

職名	部長
診療・専門領域	小児外科・小児泌尿器科
資格等	日本外科学会外科専門医、日本小児外科学会専門医、日本小児泌尿器科学会専門医、厚生労働省臨床研修指導医、緩和ケア研修修了

武田 詩奈子 たけだ しなこ

職名	医長
診療・専門領域	泌尿器科・小児泌尿器科
資格等	日本泌尿器科学会専門医・指導医、緩和ケア研修修了

宮﨑 涼 みやざき りょう

職名	後期研修医
診療・専門領域	
資格等	

診療科の概要、方針

泌尿器科は、腎臓や尿の通りみち（尿管、膀胱、尿道）、外陰部や生殖器などの主に先天性疾患を対象とした診療科です。先天性腎尿路異常をはじめ、排尿機能障害、性分化疾患、尿道下裂など、小児泌尿器疾患全般に対して専門的な診療を行っています。

小児の泌尿器疾患は、成長や発達とともに身体機能が変化するため、将来を見据えた治療計画が重要となります。当科では、腎機能や排泄機能、性機能の回復と温存を目標に、お子さま一人ひとりの病態や成長段階に応じた適切な治療を提供しています。小児期の診療が成人後の生活の質（QOL）に大きく影響することを念頭に、長期的な視点で診療に取り組んでいます。

膀胱尿管逆流や先天性水腎症などの先天性腎尿路異常、二分脊椎に伴う膀胱機能障害、停留精巣、陰嚢水腫、尿道下裂、性分化疾患、尿路結石など、幅広い疾患に対応しており、複数の合併症を有する患者さんについては、関係診療科や多職種と連携した総合的な診療を行っています。

また、当院は日本泌尿器科学会専門医教育施設として、高度で専門的な小児泌尿器医療を実践するとともに、専門医の育成にも取り組んでいます。東北地方の小児泌尿器医療を支える拠点として、患者さんとご家族が安心して治療に臨めるよう、安全で質の高い医療の提供に努めています。

診療内容の特徴

1 先天性腎尿路異常
膀胱尿管逆流や先天性水腎症などに対し、適切な時期に保存的治療や手術治療を行っています。

2 尿道下裂・外陰部生殖器疾患
尿道下裂、停留精巣、陰嚢水腫、包茎など、小児に多い外陰部・生殖器疾患の診療を行っています。

3 排尿機能障害・神経因性膀胱
尿失禁や夜尿症、二分脊椎などに伴う神経因性膀胱に対し、多職種と連携した診療を行っています。

4 性分化疾患
DSDサポートチームと連携し、一人ひとりの状況に応じた専門的な診療を提供しています。

5 小児泌尿器科手術・長期管理
将来の腎機能、排泄機能、性機能や生活の質（QOL）を見据え、低侵襲手術を含めた専門的な治療と長期的な経過観察を行っています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師 ★…後期研修医 （2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
泌尿器科外来	新患						城之前				
	再来					城之前				坂井	坂井
	新患・再来					相野谷	相野谷	相野谷	相野谷	相野谷	第1・2・5: 相野谷
						第1・3・4・5: 江里口◆ 第2:武田	第1・3・4・5: 江里口◆ 第2:武田	第1・2・5: 武田 第3・4:城之前	第1・2・3・5: 武田 第4:城之前	第1・3・5: 城之前 第2・4:武田	第1・3・5: 城之前 第2・3・4:武田

産科

各科WEB

診療科紹介

医師一覧

科長 今井 紀昭 いまい のりあき

職名	科長 兼 循環器センター勤務
診療・専門領域	周産期医学、胎児診断・治療、産婦人科一般
資格等	日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本周産期 新生児医学会専門医・指導医（母体・胎児）、日本産婦人科内視鏡 学腹腔鏡技術認定医、厚生労働省臨床研修指導医、母体保護法指定医、J-MELS ベーシックコースインストラクター

赤石 美穂 あかいし みほ

職名	部長
診療・専門領域	周産期医学、産婦人科一般
資格等	日本産科婦人科学会専門医・指導医、母体保護法指定医

齊藤 裕也 さいとう ゆうや

職名	医長
診療・専門領域	周産期医学、産婦人科一般
資格等	日本産科婦人科学会専門医、日本周産期新生児 医学会専門医（母体・胎児）、母体保護法指定医、産業医、新生児蘇生法（NCPR）プロバイダー

泉 聖也 いずみ せいや

職名	医師（フェロー）
診療・専門領域	周産期医学、産婦人科一般
資格等	日本産科婦人科学会専門医

髙濱 純史 たかはま じゅんじ

職名	医師（フェロー）
診療・専門領域	周産期医学、産婦人科一般
資格等	

診療科の概要、方針

産科は、宮城県の周産期医療体制における三次周産期医療施設の一つとして、地域の中核的な役割を担っています。地域周産期母子医療センターとしてMFICU（母体胎児集中治療室）を備え、切迫流早産、妊娠高血圧症候群、双胎妊娠などのハイリスク妊娠に対応するとともに、地域のニーズに応じて里帰り分娩を含むローリスク分娩も積極的に受け入れています。365日24時間体制で、安全・安心な周産期医療を提供しています。

当院はこども病院として、胎児疾患に対する専門的な診療を大きな特色としており、診断から適応があれば胎児治療まで行っています。新生児科をはじめ、循環器科、外科、泌尿器科、脳神経外科、形成外科などの関係診療科と密接に連携し、出生前から出生後まで切れ目のない診療体制を整えています。

また、出生前診断にも力を入れており、胎児ドック（胎児精密超音波検査）やNIPT（非侵襲性出生前遺伝学的検査）、羊水検査などを実施しています。認定遺伝カウンセラーを含む多職種が連携し、適切な遺伝カウンセリングと遺伝学的検査を提供しています。

さらに、早産や後期流産を経験された方への妊娠前相談にも対応し、お母さんと赤ちゃんが安心して妊娠・出産・産後を迎えられるよう支援しています。日本周産期・新生児医学会周産期専門医（母体・胎児）研修認定施設をはじめとする各種認定施設として、高度で専門的な周産期医療と専門人材の育成にも取り組んでいます。

診療内容の特徴

1 胎児治療
双胎間輸血症候群に対する胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術、TRAP sequenceに対する無心体ラジオ波焼灼術、胎児胸水に対する胸腔-羊水腔シャント術、胎児貧血に対する胎児輸血、頻脈性不整脈に対する経母体的抗不整脈投与などを行って児の予後改善を図っています。

2 出生前診断と遺伝カウンセリング
NIPT、羊水検査などの出生前診断、精密超音波検査などを行っており、認定遺伝カウンセラーと連携して出生前から支援します。

3 地域周産期医療センター
MFICU6床を備え、切迫流早産、妊娠高血圧症候群、双胎妊娠などのハイリスク妊娠の管理をしています。

4 切迫流早産
切迫流早産として管理されている症例のうち、頸管無力症が疑われる症例には頸管縫縮術を行ったり、頸管ペッサリーを使用するなどして極力外来管理できるよう努めています。

5 ローリスク妊娠
里帰り分娩も含め、母児に合併症を認めないローリスクの妊娠・分娩管理も行っています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師 ★…後期研修医 （2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
産科外来	新患・再来	今井	今井 赤石 齊藤 泉 髙濱	泉	今井 赤石 齊藤 泉 髙濱	齊藤	今井 赤石 齊藤 泉 髙濱	髙濱	今井 赤石 齊藤 泉 髙濱	赤石	今井 赤石 齊藤 泉 髙濱
産後1か月健診	再来						今井 赤石 齊藤 泉 髙濱				今井 赤石 齊藤 泉 髙濱
遺伝C・NIPT	新患・再来				小川（認定遺伝カウンセラー） 今井 赤石 齊藤 泉 髙濱		小川（認定遺伝カウンセラー） 今井 赤石 齊藤 泉 髙濱		小川（認定遺伝カウンセラー） 今井 赤石 齊藤 泉 髙濱		小川（認定遺伝カウンセラー） 今井 赤石 齊藤 泉 髙濱

歯科口腔外科・矯正歯科

各科WEB

医師一覧

科長 御代田 浩伸　みよた　ひろのぶ
- 職名：科長 兼 医療技術部門長（歯科診療支援部門担当）
- 診療・専門領域：矯正歯科・口腔外科・障害者歯科・小児歯科
- 資格等：日本矯正歯科認定医、厚生労働省臨床研修指導歯科医

後藤 申江　ごとう　のぶえ
- 職名：部長
- 診療・専門領域：小児歯科・障害者歯科
- 資格等：日本障害者歯科学会専門医、日本小児歯科学会専門医、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

診療科の概要、方針

歯科口腔外科・矯正歯科では、全身疾患や障害のあるこどもたちに対して、他科および地域の医療機関と連携しながら、家族支援も含めた包括的な歯科診療を行っています。小児期特有の全身状態や生活背景をふまえ、長期的な口腔機能の維持と育成を重視した診療を行っていることが特徴です。

外来では、発達障害や脳性麻痺、自閉スペクトラム症などにより歯科治療が困難なこどもに対して、必要に応じて全身麻酔下での一括歯科治療を行い、治療負担の軽減と口腔内環境の早期改善を図っています。また、他科入院中の患者に対しては、ベッドサイドや外来での口腔ケアや衛生指導を行い、全身管理と連動した歯科的支援を実践しています。

さらに、口唇口蓋裂やダウン症候群などの先天性疾患や発達特性のあるこどもに対しては、出生早期から成長に応じた継続的な関わりを行い、哺乳支援から口腔衛生管理、矯正歯科治療まで一貫した診療を提供しています。顎顔面形態や咬合に関する問題に対しても、適切な時期を見極めながら矯正歯科治療を行っています。

小児に多い粘液嚢胞、小帯異常、埋伏歯、過剰歯などの口腔外科疾患に対しては手術的治療を行っており、必要に応じて入院・全身麻酔下での対応も行っています。

教育面では、歯科医師臨床研修や歯科衛生士臨床実習の受け入れを行い、次世代の歯科医療人材の育成にも取り組んでいます。

診療内容の特徴

1 有病小児・障害児の歯科治療
虫歯・歯肉炎などの一般歯科疾患に対し、全身疾患や障害特性を踏まえた安全性重視の歯科診療を行っています。

2 小児口腔外科への対応
腫瘍・嚢胞・感染・炎症・外傷など、小児特有の口腔外科疾患に対する診断と外科的治療を行っています。

3 先天性口腔顎顔面異常の包括管理
唇顎口蓋裂をはじめ、先天性顎顔面奇形や小帯異常などに対して、出生直後からの長期的治療・成長管理を支援しています。

4 歯の萌出異常・咬合異常への対応
先天性欠如歯、過剰歯、埋伏歯などの歯列異常や、不正咬合・顎変形症に対する矯正歯科治療を行っています。

5 摂食嚥下・口腔機能とチーム医療
摂食嚥下機能障害への対応に加え、NSTや他科と連携し、口腔機能と全身状態を統合した長期的管理を支援しています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師　★…後期研修医　（2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
歯科口腔外科・矯正歯科外来	新患・再来	御代田 後藤	御代田 後藤	御代田 後藤	御代田 後藤			御代田 後藤		御代田 後藤	

リハビリテーション科

各科WEB

医師一覧

科長 髙橋 祐子　たかはし　ゆうこ
- 職名：科長 兼 医療技術部門長（リハビリテーション・発達支援部担当）兼 療育支援室副室長
- 診療・専門領域：小児整形外科・小児リハビリテーション科
- 資格等：日本整形外科学会専門医・指導医、日本リハビリテーション医学会専門医・指導医

芝﨑 真人　しばさき　なおと
- 職名：医師（フェロー）
- 診療・専門領域：小児整形外科・小児リハビリテーション科
- 資格等：日本整形外科学会専門医

診療科の概要、方針

リハビリテーション科では、脳性麻痺、脳炎・脳症後遺症、頭部外傷後遺症、二分脊椎などの神経疾患をはじめ、神経筋疾患や発達障害、さらに先天性心疾患、血液腫瘍疾患、消化器疾患などの小児の幅広い疾患に対するリハビリテーションを行っています。疾患の種類にとどまらず、運動機能障害や日常生活動作の改善を目的に、個々の発達段階や全身状態に応じたリハビリテーションプログラムを提供しています。

痙性麻痺および弛緩性麻痺に対しては、機能改善と生活の質向上を目標に、装具療法やボツリヌス療法なども含めた総合的な介入を行っています。特に2023年より選択的脊髄後根切断術（SDR）を導入し、脳神経外科と連携のもと、術前評価から術中の筋電図モニタリングおよび触診による評価、術後リハビリテーションまで一貫した治療体制を構築しています。

また、神経科・整形外科をはじめとした関連診療科や、リハビリテーション・発達支援部、臨床検査技師、看護師など多職種と連携し、定期的なカンファレンスを通じて治療方針を共有しながら診療を行い、チーム医療のもと、重症例から慢性期まで切れ目のない支援を提供しています。

診療内容の特徴

1 幅広い小児疾患へのリハビリ対応
脳性麻痺、脳炎・脳症後遺症、二分脊椎、神経筋疾患、発達障害に加え、心疾患・血液腫瘍・消化器疾患など全身疾患に伴う機能障害にも対応しています。

2 発達段階に応じた機能回復支援
運動機能障害や日常生活動作の改善を目的に、成長・発達過程を踏まえた個別性の高いリハビリテーションを行っています。

3 痙性麻痺・弛緩性麻痺への専門的介入
脳性麻痺などの痙性麻痺や二分脊椎などの弛緩性麻痺に対し、装具療法やボツリヌス療法を含めた総合的治療を提供しています。

4 選択的脊髄後根切断術（SDR）への一貫対応
2023年より導入し、脳神経外科と連携して術前評価・術中モニタリング・術後リハビリまで一貫した治療体制を構築しています。

5 多職種・他科連携によるチーム医療
神経科・整形外科など関連診療科に加え、多職種カンファレンスを通じて情報共有を行い、包括的に支援しています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師　★…後期研修医　（2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
整形外科外来 リハビリテーション外来	新患				落合 髙橋 水野 小松 芝﨑						
	再来	落合 髙橋 水野 小松 芝﨑		落合 髙橋 水野 小松 芝﨑		落合 髙橋 水野 小松 芝﨑 佐藤◆	落合 髙橋 水野 小松 芝﨑 佐藤◆				

発達診療科

医師一覧

科長 涌澤 圭介 わくさわ けいすけ

職名	科長
診療・専門領域	小児神経
資格等	日本小児科学会専門医、日本小児神経学会専門医、日本小児精神神経学会認定医、 子どものこころの専門医機構子どものこころの専門医・指導医、 日本小児精神神経学会代議員、日本 EMDR 学会理事

診療科の概要、方針

発達診療科では、自閉スペクトラム症、注意欠如多動症(ADHD)、限局性学習症などの神経発達症(発達障害)を中心に、発達に課題をもつお子さんの診療を行っています。ことばの遅れや対人関係の困難、学習面や行動面の問題などを契機に受診される方に対し、評価・診断および支援方針の検討を行っています。

診療にあたっては、症状そのものだけでなく、二次障害として生じる情緒・行動上の問題、不登校、親子関係の課題、家庭・養育環境の影響など、心理社会的背景も含めて総合的に捉えた対応を行っています。必要に応じて、心理士、作業療法士、言語聴覚士など多職種による介入や、親子並行での支援も実施しています。

また、2022年度より地域連携を重視した「協働診察システム」を導入し、初診評価後はかかりつけ医、学校、園、行政、地域療育機関と連携しながら、日常生活の中での発達支援を進めています。医療機関内にとどまらず、地域資源を活用した実践的な支援体制を構築しています。

当科では「正常化」ではなく「最適化」を目標とし、できないことの克服に偏るのではなく、できることを広げる視点から、お子さんの成長を支える医療を提供しています。

診療内容の特徴

1 発達の遅れへの対応
精神発達の遅れなど、発達全般の課題に対する評価と支援を行います。

2 神経発達症群の専門診療
自閉スペクトラム症、ADHD、限局性学習症などの神経発達症に対し、診断と特性に応じた支援を行います。

3 不登校・心身症への対応
不登校や心身症など、心理的・身体的ストレスが関与する症状に対して総合的に診療します。

4 養育環境・関係性の課題への支援
養育上の問題や親子関係、情緒面の課題など、家庭環境を含めた支援を行います。

5 トラウマを含む心の諸問題への対応
心的外傷(トラウマ)を含めたさまざまな心理的問題に対し、背景を踏まえた継続的な支援を行います。

外来週間担当表

◆…非常勤医師 ★…後期研修医 ※神経科より診療応援 (2026年7月現在)

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
発達診療科外来	新患	涌澤	涌澤	涌澤 神経科応援医師※	涌澤	涌澤	涌澤	涌澤			
	再来	涌澤	涌澤	涌澤	涌澤	涌澤	涌澤	涌澤	神経科応援医師※		

まほうの広場

放射線科

医師一覧

科長 北見 昌広 きたみ まさひろ

職名	科長 兼 医療技術部門長(放射線部担当)兼 循環器センター勤務
診療・専門領域	小児画像診断・胎児画像診断
資格等	日本医学放射線学会放射線診断専門医

診療科の概要、方針

放射線科では、小児医療における画像診断の部門として診療を行っています。

画像診断においては、「個々の患者に対して適切な画像検査を選択すること」「身体的・精神的負担を最小限に抑えた安全な検査を提供すること」「得られた画像情報から診断・治療に有用な情報を最大限に抽出すること」の3点を基本方針とし、主治医と密に連携しながら診療を行っています。CT、MRI、核医学検査についてはすべて画像診断報告書を作成し、診断や診療方針の決定を支援しています。また、心臓・産科領域を除く各種超音波検査にも対応しています。

さらに、画像診断の専門的立場から、臨床各科とのカンファレンスやコンサルテーションを通じ、診断精度の向上に努めるとともに、適切な検査計画や治療方針の立案に貢献しています。

小児の画像診断では、成長発達に伴う正常変化や小児特有の疾患を理解したうえで画像を評価する専門性が求められます。当科では、被ばくや検査負担に十分配慮しながら、高度な画像診断技術を活用して質の高い医療の提供に努めています。

診療内容の特徴

1 小児に特化した画像診断戦略
年齢・疾患・臨床状況に応じて最適な画像検査(CT・MRI・核医学など)や撮影条件を選択し、診断能と侵襲性のバランスを最適化します。

2 低侵襲・低ストレスな検査実施体制
小児の身体的・精神的負担を十分に配慮し、必要に応じて鎮静も行いながら安全な検査を実施しています。

3 専門的な画像診断レポート
全CT・MRI・超音波・核医学検査に対して専門的画像診断報告書を作成し、診断や治療方針の決定を支援しています。

4 臨床各科との緊密な連携
カンファレンスやコンサルテーションを通じて画像所見と臨床情報を共有し、診療支援とともに診断精度の向上に努めています。

5 幅広い小児画像診断への対応
中枢神経、胸部、腹部、筋骨格系をはじめ、小児特有のさまざまな疾患に対して専門的な画像診断を提供しています。

外来受付

診療科紹介

麻酔科

各科WEB

医師一覧

科長 五十嵐 あゆ子 いがらし あゆこ
- 職名：副院長 兼 診療部長 兼 麻酔科科長 兼 手術部長 兼 医療技術部門長（臨床工学部担当）兼 医療技術部門長（眼科診療支援部門担当）兼 診療情報室長 兼 循環器センター勤務
- 診療・専門領域：麻酔全般
- 資格等：麻酔科標榜医、日本麻酔科学会専門医・指導医、日本小児麻酔学会認定医

北村 英恵 きたむら はなえ
- 職名：部長
- 診療・専門領域：麻酔全般
- 資格等：麻酔科標榜医、日本麻酔科学会専門医・指導医

菊地 千歌 きくち ちか
- 職名：部長 兼 循環器センター勤務
- 診療・専門領域：麻酔全般
- 資格等：麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医、日本麻酔科学会専門医・指導医、日本小児麻酔学会認定医

篠﨑 友哉 しのざき ともなり
- 職名：部長 兼 循環器センター勤務
- 診療・専門領域：麻酔全般
- 資格等：麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医、日本麻酔科学会専門医・指導医、日本小児麻酔学会認定医

吉田 典史 よしだ のりふみ
- 職名：医長
- 診療・専門領域：麻酔全般
- 資格等：麻酔科標榜医、日本麻酔科学会専門医

小林 弘樹 こばやし ひろき
- 職名：医長
- 診療・専門領域：麻酔全般
- 資格等：麻酔科標榜医、日本麻酔科学会専門医

診療科の概要、方針

麻酔科では、手術や検査に伴う痛みや不快な感覚を取り除き、患者さんの意識や記憶のコントロール、筋肉の弛緩を行うことで、安全かつ円滑な手術の実施を支えています。また、手術中は呼吸・循環（脈拍・血圧など）を常時監視し、必要に応じて人工呼吸の調整、輸液や薬剤投与を行い、全身状態の管理を通じて生命の安全を守ります。術後についても、痛みをできる限り軽減できるよう、硬膜外麻酔や神経ブロック、持続鎮痛などを用いた疼痛管理を行っています。

当院では体重500g未満の未熟児から成人まで、幅広い患者さんの手術・検査に対応しており、それぞれの年齢・状態に応じた安全で質の高い麻酔の提供を行っています。小児では特に手術や麻酔への不安が強いことが多く、また自ら不安を表現することが難しい場合もあるため、術前の丁寧な説明や環境調整、必要に応じた鎮静薬の使用など、不安軽減の取り組みも行っています。

さらに術前診察では、全身状態の評価に加えて十分な説明を行い、安心して手術に臨めるよう配慮しています。帝王切開術においては、胎児への影響を避けつつ母体への負担を最小限にする麻酔法を選択するなど、各症例に応じた最適な麻酔管理を提供しています。

診療内容の特徴

1 新生児・小児に特化した周術期管理
体重500gの未熟児から小児・成人まで、発達段階に応じた生理学的特性を踏まえた麻酔管理を行います。

2 希少疾患・重症例を含む高度専門医療への対応
先天性疾患や複雑心奇形など、多様な基礎疾患を持つ小児症例に対し、安全性を最優先に麻酔管理を行います。

3 小児の不安軽減と行動特性への配慮
年齢特性に応じた説明や環境調整、麻酔前投薬の活用により、分離不安や周術期ストレスの軽減を図ります。

4 小児に最適化された区域麻酔・鎮痛戦略
超音波ガイド下神経ブロックや硬膜外麻酔を活用し、術中・術後疼痛を低減し回復促進を図ります。

5 多診療科連携による高度周術期管理体制
新生児科・外科系各科・集中治療科と連携し、周術期全体を通じた一貫した安全管理体制を構築しています。

外来週間担当表

◆…非常勤医師 ★…後期研修医 （2026年7月現在）

外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
麻酔科外来	再来	麻酔科医		麻酔科医		麻酔科医		麻酔科医		麻酔科医	

集中治療科

各科WEB

医師一覧

科長 小泉 沢 こいずみ たく
- 職名：科長 兼 小児集中治療部長 兼 循環器センター勤務
- 診療・専門領域：小児集中治療
- 資格等：日本集中治療医学会専門医、日本小児科学会専門医、日本呼吸療法医学会専門医、PALS instructor、JPLS instructor

小野 頼母 おの たのも
- 職名：部長 兼 運営戦略室長 兼 循環器センター勤務
- 診療・専門領域：小児集中治療・小児循環器
- 資格等：日本専門医機構小児科専門医、日本小児循環器学会小児循環器専門医、日本専門医機構集中治療科専門医、医学博士、日本周術期経食道心エコー認定医、SHD 心エコー図認証医

其田 健司 そのた けんじ
- 職名：部長 兼 循環器センター勤務
- 診療・専門領域：小児集中治療
- 資格等：日本小児科学会専門医

田邊 雄大 たなべ たけひろ
- 職名：部長 兼 循環器センター勤務
- 診療・専門領域：小児集中治療・小児循環器・公衆衛生・疫学
- 資格等：日本小児科学会専門医、日本小児循環器学会専門医、日本集中治療学会専門医、日本救急医学会 救急科専門医、公衆衛生修士、日本周術期食道心エコー認定医、SHD 心エコー図認定医、JATEC instructor

竹澤 芳樹 たけざわ よしき
- 職名：医長 兼 循環器センター勤務
- 診療・専門領域：小児集中治療
- 資格等：日本小児科学会専門医、日本集中治療学会専門医、PALS instructor

荒川 貴弘 あらかわ たかひろ
- 職名：医師（フェロー）兼 循環器センター勤務
- 診療・専門領域：小児集中治療
- 資格等：日本小児科学会専門医、麻酔科標榜医

髙橋 空 たかはし そら
- 職名：後期研修医
- 診療・専門領域：
- 資格等：

診療科の概要、方針

当院の集中治療室は、重症小児の診療に特化した県内唯一の小児集中治療室（PICU）です。新生児（早産児を除く）から成人診療科への移行前までを対象とし、重症化が懸念される呼吸障害、循環障害、けいれん重積、重症感染症など、集中治療を要するあらゆる重症小児を県内外から受け入れています。

集中治療科はPICU専従診療科として、内因性疾患・外因性疾患・周術期症例を問わず、PICUに入室する全ての患者の全身管理を担当しています。人工呼吸管理、体外式膜型人工肺（ECMO）、急性血液浄化療法など高度な集中治療を提供し、救命と機能予後の改善に努めています。

診療にあたっては各専門診療科と連携するとともに、看護師、臨床工学技士、薬剤師、リハビリスタッフ、管理栄養士など多職種によるチーム医療を実践しています。また、チャイルド・ライフ・スペシャリストや院内保育士と協力し、患者・家族への心理社会的支援にも取り組んでいます。

状態が重篤な患者さんだけでなく、今後の重症化が懸念される患者さんや貴院での対応に不安のある患者さんについても、いつでも集中治療科にご相談ください。平日日中は医師・看護師による搬送チームがドクターカーで紹介元医療機関へ伺い、患者さんの安定化と安全な搬送を行う「迎え搬送」を実施しています。

診療内容の特徴

1 迎え搬送・救急対応・院内急変対応
PICU内にとどまらず、迎え搬送、重症救急患者の初期対応、院内急変対応チーム活動などを通じて院内外の重症患者診療を担います。

2 体外式循環補助・体外式膜型人工肺（ECMO）
ECMOを用いた体外循環補助により、最重症の呼吸不全・循環不全に対する集中治療を行います。

3 急性血液浄化療法
持続血液ろ過透析、血漿交換、血液吸着により病因物質除去・体液恒常性の維持を行い、腎不全や肝不全などの治療を行います。

4 先天性心疾患に対する周術期管理
ECMO、一酸化窒素吸入療法、低濃度酸素吸入療法など複雑な血行動態を考慮した術前・術後管理を行います。

5 神経集中治療
急性脳症、けいれん重積、心停止後症候群などに対し、呼吸循環管理を基盤として体温管理療法や頭蓋内圧管理を行います。

診療科紹介

臨床病理科

各科WEB

診療科紹介

医師一覧

科長　武山 淳二　たけやま　じゅんじ

職名	科長 兼 医療技術部門長（病理担当）
診療・専門領域	病理検査全般
資格等	日本病理学会　病理専門医、 日本臨床細胞学会　細胞診専門医

診療科の概要、方針

臨床病理科は専門医1名と、細胞検査士および認定病理検査技師の資格を持つ臨床検査技師2名で構成され、病理診断業務を行っています。一般的な病理検査室で実施される検査のほぼ全てに対応しており、病理組織診断、細胞診、術中迅速診断、病理解剖の4つを主な業務としています。

病理組織診断では、手術や検査で採取された組織を用いて標本を作製し、顕微鏡下で詳細に観察することで最終診断を行います。細胞診では、子宮頸部細胞診をはじめ、尿・髄液などの検体に加え、粘膜擦過による細胞を用いて腫瘍性変化や炎症性変化の評価を行い、細胞検査士とのダブルチェック体制で診断精度の向上を図っています。

術中迅速診断では、手術中に採取された組織を短時間で凍結標本として評価し、約15分程度で術式や切除範囲の決定に貢献しています。また病理解剖では、亡くなられた患者さんの死因や病態の解明を行い、医療の質向上に役立てています。特に術中迅速診断および病理解剖については、時間外も可能な限り対応しています。

当科は患者さんと直接接する機会は多くありませんが、正確で迅速な病理診断を通じて、臨床現場の意思決定を支える重要な役割を担っています。

診療内容の特徴

1 確定診断を担う病理診断機能
手術・生検で採取された組織を病理学的に評価し、最終診断として臨床診療の意思決定を支えます。

2 細胞診によるスクリーニングと精度管理
子宮頸部細胞診をはじめ各種検体を対象に、細胞検査士とのダブルチェック体制で診断精度の向上を図ります。

3 術中迅速診断による手術方針決定支援
術中に迅速標本を作製し短時間で診断を提供することで、切除範囲や術式選択など外科治療の意思決定を支援します。

4 死亡症例の病理解剖による原因究明と還元
病理解剖を通じて死因や病態を明らかにし、診療科へのフィードバックを行うことで医療の質向上に寄与します。

5 臨床各科と連携した迅速・一元的診断体制
各診療科からの検体に対し、専門医と臨床検査技師が連携して迅速に対応し、時間外も含めた継続的な診断支援体制を構築しています。

こども図書館

眼科/内分泌科/耳鼻いんこう科/児童精神科

診療科の概要、方針

当院では、現在、眼科、内分泌科、耳鼻いんこう科、児童精神科は非常勤医師が診療しております。この4つの診療科は他科に入院、通院する患者さんに対する診療を主に行っており、眼科は院外からのご紹介をお受けしていますが、内分泌科、耳鼻いんこう科、児童精神科の3診療科は、原則として院外からのご紹介はお受けしておりませんので、どうぞご了承ください。

【眼科】

こどもの視点に立った温かく良質な医療を目指し、地域医療機関との連携をとりながら、お子さん一人ひとりの将来を第一に考える眼科診療を志しています。

対象疾患
- ●斜視（外斜視、内斜視などの眼位異常）
- ●心身発達異常に伴う眼疾患の管理
- ●代謝異常に伴う眼合併症の管理
- ●網膜・視神経の先天異常
- ●未熟児網膜症
- ●心因性視覚障害
- ●弱視治療
- ●網膜・脈絡膜変性疾患
- ●先天性障害

など

【内分泌科】

さまざまな内分泌異常や肥満・代謝疾患、新生児マススクリーニングで発見される先天性代謝異常症などの診療を行います。新生児、乳幼児、学童、そして思春期の成長過程におけるホルモンバランスの変化に伴う疾病に対して診療を行います。

対象疾患
- ●低身長症
- ●甲状腺機能低下症
- ●プラウダー・ウィリー症候群
- ●糖尿病
- ●成長ホルモン分泌不全
- ●思春期早発症

など

【耳鼻いんこう科】

耳・鼻・のど・頭頸部の疾患をあつかいます。難聴が疑われる児、言語発達遅滞がある児へ言語聴覚士の先生方と協力して、聴力の評価と言語発達のフォローを行っています。口蓋裂児の診療を形成外科、歯科の先生と協力して行うと共に、新生児から幼児、学童における上気道の評価、嚥下機能の評価を内視鏡を用いて行っています。

当科領域の疾患が疑われる際にはお気軽に相談ください。

対象疾患
- ●難聴
- ●言語発達遅滞
- ●中耳炎
- ●不明熱（熱源検索）
- ●喘鳴、嗄声（声がれ）
- ●嚥下障害

など

【児童精神科】

身体疾患の闘病に伴う心理的問題やうつ状態・不安といった精神症状、およびストレスが関連した疾患への精神的治療について、他科と連携して診療を行っています。

対象疾患
- ●適応障害
- ●心身症
- ●うつ病
- ●不安障害

など

外来週間担当表

◆…非常勤医師　★…後期研修医　（2026年7月現在）

診療科	医師	外来		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
眼科	東北大学病院◆	眼科外来	新患・再来		東北大学病院◆	東北大学病院◆					東北大学病院◆	東北大学病院◆	

循環器センター

各科WEB

診療科の概要、方針

当センターでは、生まれつき心臓に病気のある先天的心疾患のお子さんに対する内科的或いは外科的診療が中心となります。それ以外では不整脈、肺高血圧症、川崎病合併心疾患や心筋炎、心筋症なども対象となります。出生前診断から始まり新生児期に手術が必要となるお子さんから、乳幼児期に治療介入したり学童期以降に不整脈や症状が現れて初めて心臓病に気付かれ治療に至る場合もあります。

また心臓病の治療成績の向上に伴い成長し成人になっても継続的経過観察や外科治療を含めた治療が必要とされる患者数も増加しています。いわゆる成人先天性心疾患患者さんですが当院ではスムースな移行期医療が実行できるように東北大学病院成人先天性心疾患外来と連携して随時紹介しています。

救急医療

当院では、小児の二次・三次救急および周産期救急について常時対応しています。複数の診療科領域にわたって緊急かつ高度な処置を必要とする重篤な状態にある患者さんを受け入れるため、県内の医療機関と緊密に連携し、転院搬送に対応しています。

拓桃館屋上にはヘリポートがあり、宮城県ドクターヘリによる患者搬送を積極的に受け入れています。

また、当院大型救急車を活用して、2017年10月よりドクターカーによる院外重症患者の迎え搬送を開始しました。さらに集中治療科医師の増員とPICU8床への増床等、救急医療・集中治療体制の充実に取り組んでいます。

【基本方針】

❶当院は宮城県の周産期・小児医療システムにおいて三次救急医療を担っており、主に二次救急医療機関では対応できない複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者の転送を24時間体制で受け入れ、高度専門医療を提供する。

❷母体搬送については、原則として母体側のハイリスク要因を持たない患者を受け入れる。

❸母体搬送または新生児搬送される低出生体重児等は、仙台赤十字病院、東北大学病院と役割を分担して受け入れる。

❹新生児及び小児の外科的疾患については、東北大学病院、仙台赤十字病院等と役割を分担して受け入れる。

❺二次救急については、仙台市小児科病院群輪番制（土・日・祝休日の日勤帯）に参加、協力する。また、地域医療機関及び一次救急施設からの二次転送は、昼夜を問わず可能な限り受け入れる。

❻一次救急については、休日当番医及び休日夜間急患センターで対処してもらうことを原則とし、電話での問い合わせにはその旨を説明する。ただし、直接来院した患者及び当院で加療・通院中の患者については対応する。

❼外傷は原則として扱わないが、該当診療科医師に確認して、対応可能であれば受け入れる。

救急車

屋上ヘリポート

短期入所サービス

対象	重症心身障害児・肢体不自由児の方が対象です。 ＊自閉症や重度の知的障害の方は病棟の特性上受け入れが困難であるため、対象となる施設への申し込みをお願いします。ご利用の際には市町村が発行する「障害福祉サービス受給者証」が必要です。
サービス内容	在宅の重症心身障害児の保護者（児童福祉法（昭和22年法律第164号）第6条に規定する保護者。以下「保護者」という。）が、様々な理由で障害児本人を介護することが一時的に困難になった場合にご利用いただけます。保護者の休養・ご家族の病気や冠婚葬祭などにご利用できます。 内 容：食事・排泄・入浴（入浴日が該当する日）などの日常生活上の世話 健康チェック・経管栄養や導尿等の医療ケア ＊医療行為・リハビリテーションは含まれません。 ＊利用期間中に医療を必要とする場合は、保険診療に切り替えて医療行為をおこなうことになります。 また、その際には速やかに保護者に連絡させていただきます。
利用申し込み	お問い合わせ・相談：入退院センター　TEL 0570-003-876（音声ガイダンス2番） 予約：地域医療連携室　TEL 0570-003-876（音声ガイダンス1番） WEB予約フォーム　URL https://www.miyagi-children.or.jp/form/tanki/
利用までの流れ	お問い合わせ・相談 → 体験入院（1泊程度） → 申込 → 利用開始

地域医療連携

当院の外来診療は紹介予約制をとらせていただき、地域の医療機関と連携しながら、患者さんやご家族の方が継続した医療・療育を速やかに受けられるよう努めております。ご紹介時のご連絡は地域医療連携室までお願いいたします。

地域医療連携室

住所	〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3番17号
TEL	022-391-5115（医療機関専用／直通）
FAX	022-391-5120（直通）
受付時間	平日8時30分～17時00分

救急患者さんや時間外の患者さんのご紹介、または日中に担当医に直接電話する必要がある場合は病院代表までご連絡ください。

病院代表電話番号　022-391-5111（オペレーター対応）

セカンドオピニオンについて

他の医療機関で治療を受けている患者さんを対象に、当院の専門医が現在受診されているかかりつけ医療機関の主治医からの診療情報提供書や検査データなどをもとに助言を行い、患者さんがより良い治療を受けることができるよう支援するものです。詳細は当院ホームページをご覧いただくか、地域医療連携室にお問い合わせください。

URL	https://www.miyagi-children.or.jp/outpatient/second_opinion ホーム ➡ 医療機関の方へ ➡ セカンドオピニオン
受付時間	平日9時00分～16時00分
問合せ先	医療機関専用 022-391-5115　／　患者様専用 0570-003-876（音声ガイダンス1番）

医療機関向け「オンライン症例カンファレンス」について

『オンライン症例カンファレンス』は先生方が日頃の診療で気になることや診断・治療などについて、当院の専門診療科医師とオンラインで検討および意見交換していただくものです。

ご相談を希望される症例がございましたら、当院ホームページ掲載の「オンライン症例カンファレンス問い合わせフォーム」よりお申込みください。送信内容を確認の上、お申込みいただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。詳細は当院ホームページをご覧ください。

URL	https://www.miyagi-children.or.jp/medical_institution/online_conference/ ホーム ➡ 医療機関の方へ ➡ オンライン症例カンファレンス

概要

相談者	医療機関（医師）	相談時間	最大30分／回	料金	無料
相談方法	Zoomアプリを使用したミーティング形式 ※Zoomミーティングは、申込者のアカウント設定が必要です。 ※相談日が確定後、相談日前日までに申込者のアカウントで発行したZoomミーティングの招待状を当院へお送りいただきます。				
対応診療科	新生児科　総合診療科　消化器科　アレルギー科　リウマチ・感染症科　腎臓内科 血液腫瘍科　循環器科　外科　心臓血管外科　脳神経外科　産科　発達診療科 集中治療科　臨床病理科				

患者さん紹介方法

1 医療機関・かかりつけ医に予約を取っていただく場合

患者さん

受診する ↓

医療機関・かかりつけ医等
宮城県立こども病院の受診が必要と診断

紹介する ↓　↑ 患者さんが受診後に受診報告書を送付

宮城県立こども病院

通常の紹介方法

FAXによる紹介

『FAX送信票(P38~41)』を記入・送信

地域医療連携室(直通)
FAX 022-391-5120
平日 8時30分~17時00分

※FAX送信票とあわせて『診療情報提供書』が必要となる診療科がありますのでご注意ください。

電話による紹介

地域医療連携室(直通)
TEL 022-391-5115
平日 8時30分~17時00分

※『診療情報提供書』を後日お送りください。

緊急性を有する場合の紹介方法

宮城県立こども病院(代表)
TEL 022-391-5111

※電話交換手に『緊急です』とお申し出ください。
※時間外での緊急の診察依頼も同じ番号で受付いたします。
※『診療情報提供書』を追ってお送りください。

重症患者の場合

PICUホットライン(集中治療科直通)
TEL 080-3333-7903
24時間365日いつでも小児の重症患者に関する相談、転院依頼を受け付けます。

搬送チームによる迎え搬送も行っています。

↓

地域医療連携室で診察券IDと予約をお取りします。
『診療予約券』『問診票』をFAXでお送りしますので、『診療情報提供書』とあわせて患者さんにお渡しいただき、当日持参いただくものをお伝えください。

2 患者さん・ご家族に直接予約を取っていただく場合

医療機関・かかりつけ医の先生から、紹介状(診療情報提供書)を患者さん・ご家族にお渡しいただき、下記の手順を参考に、予約するようご説明ください。

患者さん → ≪診　療≫ → 医療機関・かかりつけ医等（宮城県立こども病院の受診が必要と診断）

① 紹介状 ← 医療機関・かかりつけ医等

② ↓ 宮城県立こども病院 地域医療連携室

③ ↓ 患者さん・ご家族

④ ↓ 宮城県立こども病院 総合案内

≪医療機関・かかりつけ医の診療を受けた後≫

①医療機関・かかりつけ医等からの紹介状をご準備ください。

②お電話で診療の予約をお取りください。
TEL　**0570-003-876**(音声ガイダンス1番)
平日　8時30分~17時00分
※お手元に紹介状とメモのご用意をお願いします。

③診療の予約をお取りし、受診の際のご案内をいたします。診察券IDをお伝えしますので、忘れずにお手元にお控えください。

④予約日当日に紹介状、マイナ保険証または資格確認証、母子手帳、問診票※などをお持ちください。
※当院ホームページから印刷いただくか、印刷する環境が無い場合は郵送対応いたしますのでご記入の上、お持ちください。

⑤来院されましたら、本館入り口からお入りいただき右手の総合案内で受付をお願いします。

ご予約のお願い

<予約を取らずに直接来院された場合>
・担当医の不在により対応できない場合があります。
・予約の上、来院している患者さんの待ち時間が長くなってしまいます。
来院する患者さんのためにも、予約を取られるようお願い申し上げます。

登録医療機関について

当院は地域の医療機関と良好な連携関係を築くために登録医療機関制度を導入しています。ぜひご利用いただきますようお願いいたします。

詳細は当院ホームページの「宮城県立こども病院 登録医療機関制度要綱」をご覧ください。

URL https://www.miyagi-children.or.jp/medical_institution/tourokuiryou/
ホーム ➡ 医療機関の方へ ➡ 登録医療機関制度

※お申込みはP37の「宮城県立こども病院 登録医療機関（登録医）申込書」をご利用ください。
※登録に対する会費等は不要です。

主な内容

1. 登録医療機関認定証を発行します。
2. 紹介患者さんを積極的に受け入れ、救急医療の必要な患者さんに対応します。
3. ご紹介いただいた患者さんの逆紹介に努めます。
4. 貴院の医療機関情報を当院ホームページに掲載し、医療関係者や患者さんにご活用いただきます。
5. 診療案内等をお送りします。
6. 地域医療研修会開催のご案内をメールでお知らせします。
7. 当院の診療に関するご案内や外来担当医の変更等をメールでお知らせします。
8. 当院のニュースレターYellをメールでお届けします。

地域医療研修会について

当院では地域医療支援病院として、県内外の周産期・小児医療従事者、地域関係機関への情報発信や知識・技術の向上を目的とした研修会を開催しております。

研修会のテーマは登録医療機関の先生方のご要望なども参考とさせていただき、開催については、当院ホームページ掲載ほか登録医の先生方には電子メールによりご案内いたします。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

●オンライン月イチセミナー
毎月1回を目安に、診療のお役に立てるような内容を診療科毎に発信する、1回あたり質疑応答時間を含めた30分間のセミナーです。
診療内容の紹介や患者紹介の目安に加え、診療のポイント、専門領域のトピックス、診療ガイドライン等を発信しています。

●そのほか「感染対策」、「医療安全」、「虐待対応」、「緩和ケア」、「小児薬物療法」、「成人移行期支援」等をテーマにした研修会を開催しています。

（様式　1）

宮城県立こども病院　登録医療機関（登録医）申込書

宮城県立こども病院
院　長　　　　　殿

本医療機関又は勤務する医師は、「宮城県立こども病院」登録医療機関又は登録医として、申し込みます。

年　　月　　日

医師会区分	・仙台市医師会　　・仙台歯科医師会　　・(　　　　　)医師会	
フリガナ		
医療機関名（又は勤務する医療機関名）		
フリガナ		㊞
開設者名（又は管理者名）		
郵便番号	〒	
住所		
電話番号	—　　　—	
FAX番号	—　　　—	
ホームページ		
E－mail	@	
診療科名		＊専門分野、得意とする分野をご記入ください。＊逆紹介の重要な資料となります。
診療時間	午前　　時　　分～　　時　　分 午後　　時　　分～　　時　　分	

休診日（休診の曜日に×をつけてください）	日	月	火	水	木	金	土	祝日
午前								
午後								

診療情報		
	入院病床	有　（　　　床）・　無
	往　診	可　・　不可　　場合によっては可（　　　）
	往診時間帯	随時　・　診療時間内　・　診療時間外
	訪問診療	有　・　無　　場合によっては可（　　　）
	訪問診療を行っている項目に〇を記載してください。	1. 点滴　2. 経管栄養　3. 中心静脈栄養　4. 在宅酸素 5. 導尿　6. 腹膜透析　7. 人工呼吸器　8. 気管切開 9. 在宅医療を必要とする癌患者 10. 治療退院後の在宅医療を必要とする患者 11. 末期（癌）患者の終末医療 12. その他（　　　　　）
その他		

※本登録用紙にてご記入いただいたE-mail等の情報は、登録医療機関（登録医）への連絡やご案内・広報などのために使用いたします。ご了承の上、ご記入は正確にお願いします。

MIYAGI CHILDREN'S HOSPITAL 宮城県立こども病院

医 科 用

FAX送信票（診療申込書）

送信日：　　　年　　　月　　　日

送信先	**宮城県立こども病院　地域医療連携室**　行 〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17 **〈TEL〉022-391-5115（直通）／ 022-391-5111（病院代表）** **〈FAX〉022-391-5120（直通）** 受付時間：月曜日～金曜日までの8時30分～17時00分（祝日、年末年始は除く）

<発信元>

医療機関名			
ご担当医名	科　　　　先生		
住　　所	〒　　－		
T　E　L	（　　）　－	F　A　X	（　　）　－

※病診連携室直通

<患者さん情報>

フ リ ガ ナ		生 年 月 日	S・H・R 年　　月　　日
お 名 前	様（男・女）		
電 話 番 号	（　　）　－		（　　歳　　か月）

救急の患者さんにつきましては、申込書を使わずに022-391-5111（代表）にお問い合わせください。

<診療希望内容>

受診希望診療科 該当診療科に☑印をご記入ください	□新生児科　□総合診療科 ※　□消化器科　□アレルギー科 □腎臓内科 ※　□リウマチ・感染症科　□血液腫瘍科　□循環器科 □神経科 ※　□産科 ※　□外科 ※　□心臓血管外科 □脳神経外科　□整形外科 ※　□形成外科 ※　□泌尿器科 ※ □眼科　□リハビリテーション科　□特に指定なし **※ 事前に診療情報提供書のFAXが必要な診療科** それ以外の診療科でも診療情報提供書を事前にFAXしていただく場合がございますのでご了承ください。
希望診療担当医師	無　・　有　（医師名:　　　　　　）
当院での受診歴の有無	無　・　有　・　不明
備　　考 （希望受診日、症状など）	

※ コピーしてご利用ください

MIYAGI CHILDREN'S HOSPITAL 宮城県立こども病院

発達診療科用

FAX送信票（診療申込書）

送信日：　　　年　　　月　　　日

送信先	**宮城県立こども病院　地域医療連携室**　行 〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17 **〈TEL〉022-391-5115（直通）／ 022-391-5111（病院代表）** **〈FAX〉022-391-5120（直通）** 受付時間：月曜日～金曜日までの8時30分～17時00分（祝日、年末年始は除く）

<発信元>

医療機関名			
ご担当医名			
住　　所	〒　　－		
T　E　L	（　　）　－	F　A　X	（　　）　－
e-mail	@　　※入力必須		

<患者さん情報>

フ リ ガ ナ		生 年 月 日	S・H・R 年　　月　　日
お 名 前	様（男・女）		
電 話 番 号	（　　）　－		（　　歳　　か月）

救急の患者さんにつきましては、申込書を使わずに022-391-5111（代表）にお問い合わせください。

<診療希望内容>

診療予約日確定までの流れ	①本申込書とあわせて診療情報提供書をお送りください。 ②診療予約日は数日以内（平日）に地域医療連携室よりご連絡いたします。 ③診療情報提供書（原本）は直接、地域医療連携室にご郵送ください。 またあわせて患者さんにご記入いただいた問診票（発達診療科専用＋一般問診票）も同封願います。
受診希望診療科	発達診療科
当院での受診歴の有無	無　・　有　・　不明
備　　考 （希望受診日・症状など）	
当院は右記のとおり協働診察システムを導入しておりますのでご了承ください。 ※詳細については「宮城県立こども病院 発達診療科 協働診察システム説明書」をご確認ください。	①原則として当院受診は初回1回のみです。 ②初診評価後は、患者さんにはご紹介元医療機関に通院していただきます。 ③但し、ご紹介元医療機関とは当科と定期的に遠隔ミーティングを行い、通院フォローに関して十分なサポートをさせていただきます。 ④初診に際して既に重篤な状況にあったり、協働診察の経過の中で状況が複雑化した場合は、当院通院フォローに切り替わり、その後の安定した場合は、再びご紹介元医療機関での通院フォローとなります。 ⑤初診後は受診報告書ほか、ご記入いただいたメールアドレス宛に遠隔ミーティングについてご連絡いたします。

※ コピーしてご利用ください

MIYAGI CHILDREN'S HOSPITAL
宮城県立こども病院

歯 科 用

FAX送信票（診療申込書）

送信日：　　年　　月　　日

送信先	**宮城県立こども病院　地域医療連携室**　行 〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17 **〈TEL〉022-391-5115（直通）／ 022-391-5111（病院代表）** **〈FAX〉022-391-5120（直通）** 受付時間：月曜日～金曜日までの8時30分～17時00分（祝日、年末年始は除く）

<発信元>

医療機関名			
ご担当医名			
住　　所	〒　　―		
T　E　L	（　　）　―	F　A　X	（　　）　―

<患者さん情報>

フ リ ガ ナ		生 年 月 日	S・H・R 年　月　日
お 名 前	様（男・女）		
電 話 番 号	（　　）　―		（　歳　か月）

救急の患者さんにつきましては、申込書を使わずに022-391-5111（代表）にお問い合わせください。

<診療希望内容>

受 診 希 望 診 療 科	歯科口腔外科・矯正歯科	
希 望 診 療 担 当 医 師	無　・　有	歯科医師名：☐御代田　浩伸；矯正歯科、口腔外科、障害者歯科 歯科医氏名：☐後藤　申江　；小児歯科、障害者歯科
当院での受診歴の有無	不明　・　無　・　有	
備　　考 依頼事項に☑印をご記入ください 主たる症状など 希望受診日 月　　日	☐智歯抜歯　☐埋伏歯抜歯　☐矯正用インプラント手術（自費） ☐唇顎口蓋裂　☐口腔感染症　☐小帯異常　☐粘液嚢胞 ☐歯・口腔・顎の外傷　☐その他の口腔外科疾患 （腫瘍、嚢胞、粘膜疾患、神経、唾液腺、　　） ☐扱い困難な小児歯科　☐障害者歯科　☐摂食障害 ☐CT検査　☐MRI検査 ☐不正咬合・矯正歯科治療依頼（　　） ☐その他（　　）	

※ コピーしてご利用ください

E10-21

MIYAGI CHILDREN'S HOSPITAL
宮城県立こども病院

産科NIPT外来用FAX送信票（診療申込書）

送信日：　　年　　月　　日

送信先	**宮城県立こども病院　地域医療連携室**　行 〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17 **〈TEL〉022-391-5115（直通）／ 022-391-5111（病院代表）** **〈FAX〉022-391-5120（直通）** 受付時間：月曜日～金曜日までの8時30分～17時00分（祝日、年末年始は除く）

<発信元>

医療機関名			
ご担当医名			
住　　所	〒　　―		
T　E　L	（　　）　―	F　A　X	（　　）　―

<患者さん情報>

フ リ ガ ナ		生 年 月 日	西暦 年　月　日
お 名 前	様		
電 話 番 号	（　　）　―		（　歳）
当院受診歴	有　・　無		

<分娩予定日>　**※ NIPT外来予約は必ず分娩予定日決定後にお申し込みください**

分 娩 予 定 日	西暦　　年　　月　　日

備　　考 （特記事項がありましたらご記入ください）	

※ コピーしてご利用ください